



「第5回 札幌ドームこども絵画展2015」入賞作品(入選は除く)

札幌ドームの「会社情報・CSR」についての最新情報は
下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

札幌ドームウェブサイトに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートを
ご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

株式会社 **札幌ドーム**

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011
発行:2016年6月 ※2016年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。



インクは植物油インクを
使用しています。



CARBON OFFSET

この報告書は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、
CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しております。

SAPPORO DOME Co.,Ltd.

CSR REPORT 2016



夢と感動を実現するステージの創造



お読みいただく皆さまへ [編集方針]

株式会社札幌ドームは、2008年に初めて「環境への取り組み」を中心とした年次報告書を発行しましたが、札幌ドーム開業10周年を迎えました2011年からは、「CSRレポート」として当社の取り組みについてご報告させていただいております。本年につきましても、当社にとってのすべてのお客さま(=ステークホルダー)に、CSRに対する当社の考え方や事業活動をご理解いただく重要なコミュニケーションツールとして「札幌ドームCSRレポート2016」を発行いたします。

本レポートをお読みいただく皆さまに、できるだけ分かりやすくお伝えするため、図表や写真を随所に用いるとともに、自然豊かな札幌ドームに暮らす鳥やチョウなどの生き物のイラストなども多くレイアウトいたしました。

CSRレポートとしての内容は、まだまだ不足している点もありますが、本レポートの発行を今後のさらなるCSRの推進につなげていきたいと考えております。皆さまからの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

株式会社 **札幌ドーム**

CONTENTS [目次]

TOPメッセージ	3
札幌ドームのCSR	5

巻頭TOPIC

●敷地内の生物調査を実施し、 周囲の環境や生態系に配慮した 維持管理による成果を確認しました	7
●お客さまのご意見をうかがうオンラインリサーチを より充実させるため、アンケート、座談会に加えて 「モニター観戦」を実施しました	9

すべてのお客さまのために

●すべてのお客さまの安全と安心のために	11
●最高の舞台であるために	15
●より楽しく、より快適にご利用いただくために	19
●お客さまの声をかたちに	25

地域社会とともに

●地域とともに成長するために	27
----------------------	----

公正に事業を推進するために

●信頼される企業であるために	31
----------------------	----

社員とともに

●誇りに思える職場であるために	33
-----------------------	----

環境にやさしい施設を目指して

●環境にやさしい施設であるために	35
------------------------	----

資料	45
----------	----

●報告対象期間 本レポートでの報告は、2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについてもご紹介しています。

●ウェブサイトの掲載 本レポートは、ウェブサイト上におきましても閲覧いただけるようPDFを掲載しています。また、札幌ドームウェブサイト、札幌ドームのCSR活動および本レポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。
<http://www.sapporo-dome.co.jp>

●発行時期 2008年より年次報告として毎年発行しています。
・2008年6月 札幌ドームECO MOTION
ひとりひとりがエコプレイヤー
環境報告書
・2010年6月 社会・環境報告書
・2011年6月 CSR レポート 2011
・2012年6月 CSR レポート 2012
・2013年6月 CSR レポート 2013
・2014年6月 CSR レポート 2014
・2015年6月 CSR レポート 2015
・2016年6月 CSR レポート 2016

2001年6月開業から15年 これからもより一層皆さまに愛されるドームを目指します

本年6月、札幌ドームは開業15周年を迎えました。これまでにご来場いただきました累計3,800万人を超えるお客さま、ホームスタジアムとしてご利用いただいております北海道コンサドーレ札幌さま、北海道日本ハムファイターズさまをはじめとするイベント主催者さま、近隣にお住まいの皆さま、そして、日頃から当社を支えていただいております多くの事業者さま、関係者の皆さまに心より感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、札幌ドームは当初2002年開催のFIFAワールドカップの会場としてサッカー専用スタジアムの計画からスタートいたしました。その後、札幌市が大会後の有効活用を見据え、ドーム化を決定したことで、サッカーと野球を両立した世界でも類を見ない多目的ドームが誕生いたしました。これにより、市民道民の皆さまの一つの念願であったプロ野球フランチャイズチームの誘致が実現し、また、数多くの夢と感動がここ札幌ドームを舞台に繰り広げられてきました。

札幌ドームは、市民の皆さまの税金を投じて建設された公の施設であります。「少しでもいいものを作り上げたい」そうした思いのもと、当時建設や開業に携わった方々の知恵と、並々ならぬご尽力に改めて敬意を表したいと思ひます。

2015年度、札幌ドームの稼働率は開業以来最も高い77.9%となり、年間の総来場者数は、4年ぶりに300万人を突破いたしました。ご利用いただきました主催者さまとご来場いただきました皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

私たちの使命は、札幌ドームで開催されるイベントなどを通して、より多くのお客さまにご来場いただき、喜び、楽しんでいただくことであります。そして、このことはまさしく、当社における企業の社会的責任の根本であると考えています。

その責任を果たすため、まずはお客さまの安全安心をしっかりと確保し、より快適にお過ごしいただけるようお客さまの声に耳を傾け、さらなる施設の改善やサービスの充実に努めてまいりたいと思ひます。

今後、札幌ドームでは、2017年2月に冬季アジア札幌大会開会式、2019年にはラグビーワールドカップが開催され、2020年には東京オリンピックのサッカー会場となる予定です。

2021年の開業20周年、そしてその先に向けて、世界からも注目される施設として、市民道民の皆さまの誇りある施設として、より一層皆さまに愛される札幌ドームを目指し、社員一同総力を結集して邁進してまいります。これからも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長沼 修

[開業20周年に向けて、ありがたい姿]

■長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」

新たな価値と感動を創造し続ける企業へ

社員一人ひとりが成長し続けることで、お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続け、市民道民の皆さまに喜ばれ、地域社会から信頼される企業を目指す

2021年、開業20周年へ

■中期経営計画2018

●基本方針

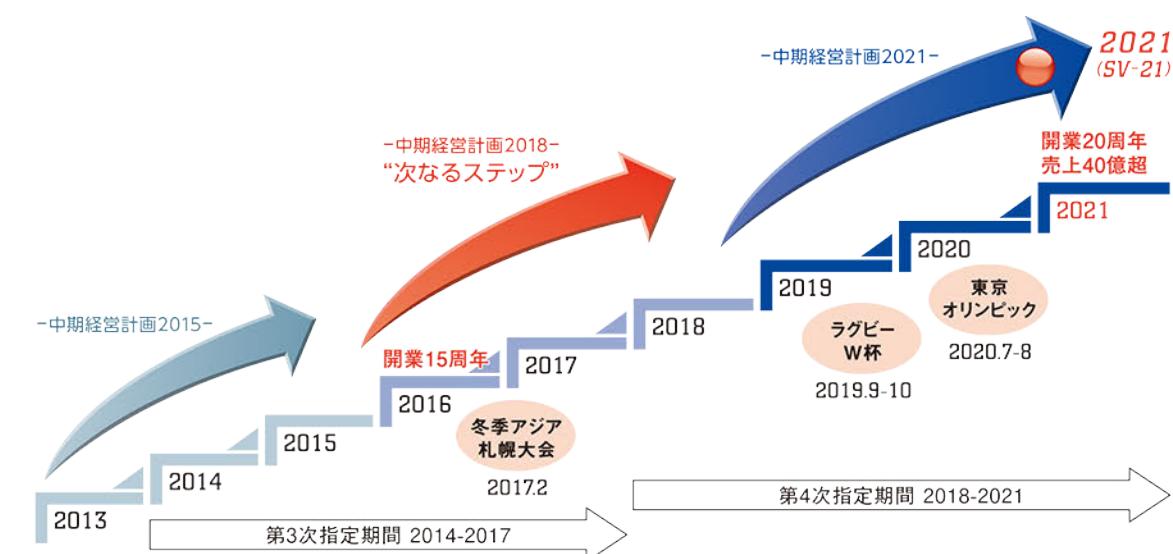
年間総来場者数300万人達成に向けた “札幌ドームブランド”の向上

(＝ステークホルダーにとっての札幌ドームの価値と信頼性)

●基本方針を実現するための3つの基本戦略

- 1 “北海道のスポーツ・文化の発信地”としての魅力と可能性の追求
- 2 人にやさしい施設づくりとサービスの深化・拡大
- 3 確固たる経営基盤の確立

●2021年に向けた道のり



【経営理念】Our Mission, Value, Vision

私たちはエンターテインメントビジネスを通して、 常に最高のホスピタリティを追求し、 すべてのお客さまの夢と感動を実現する ステージを創造します

エンターテインメントビジネス: すべてのお客さまをもてなし、楽しんでもいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
ホスピタリティ: 思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人が心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
ステージ: 空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

【行動指針】Guiding Principles

— すべてはお客さまのために —

1. お客さまと意思を一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
2. お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでもいただける環境をつくります
3. お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
4. 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
5. 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
6. 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
7. 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
8. 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
9. 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
10. 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

札幌ドームのCSR

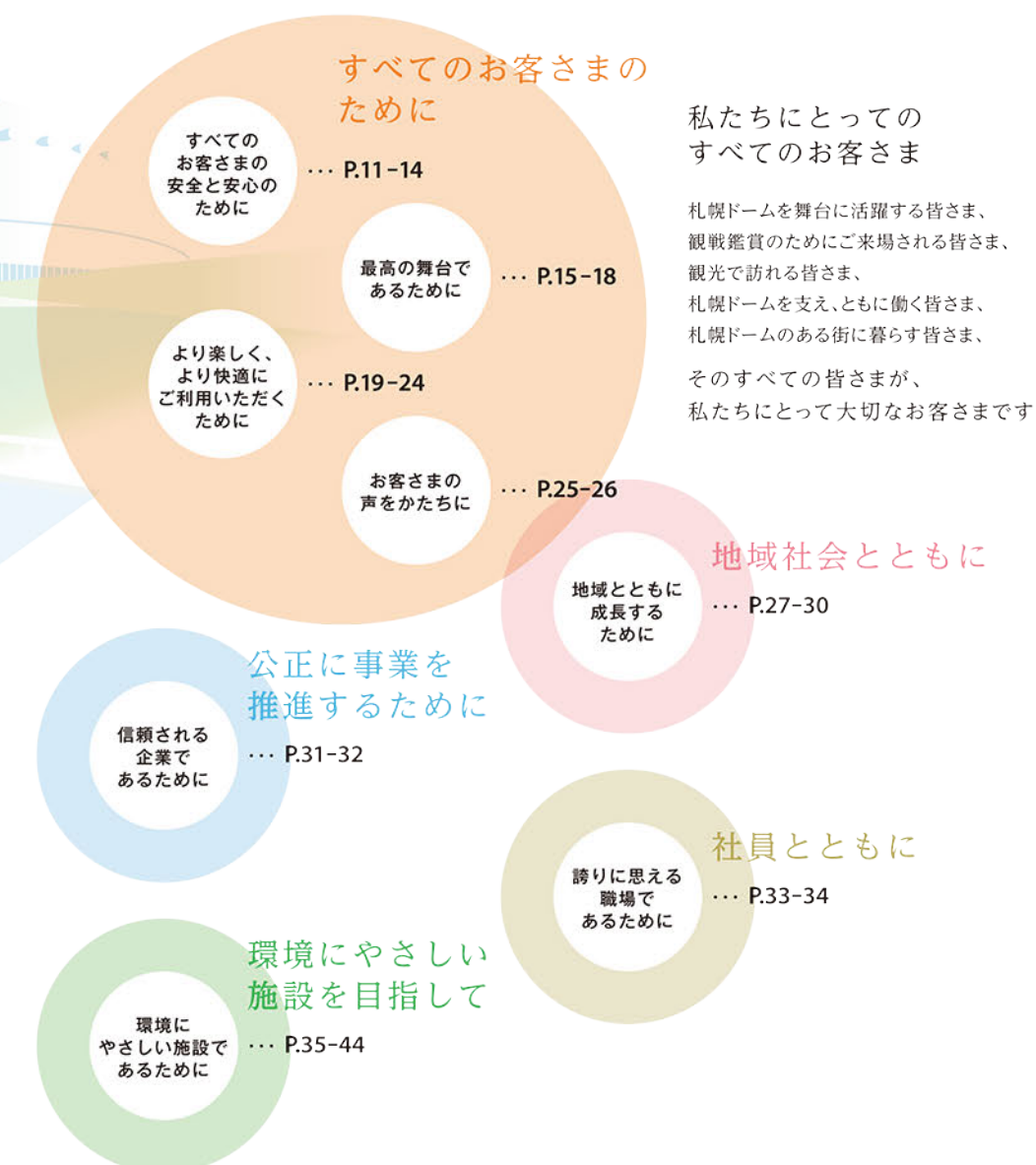
当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立されました。そのため、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第1の使命となります。したがって、当社の事業活動の成果は広く市民の皆さまや地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけでなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

— 札幌ドーム条例 第1条 —

本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

8つのCSRへの取り組み課題

CSR経営を推進するため、行動指針に基づき、8つのCSRへの取り組み課題を設定しています。



私たちにとっての
すべてのお客さま

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、
観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、
観光で訪れる皆さま、
札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、
札幌ドームのある街に暮らす皆さま、
そのすべての皆さまが、
私たちにとって大切なお客さまです

敷地内の生物調査を実施し、 周囲の環境や生態系に配慮した 維持管理による成果を確認しました

当社は開業以来、生物多様性の保全に取り組み、周囲の環境や生態系に配慮した敷地の維持管理によって豊かな環境づくりを進めています。これまでに、札幌ドーム建設に携わった大成建設株式会社さまに、計画段階の1997年から計5回の動植物のモニタリング調査を行っていただきましたが、2015年は大成建設株式会社さまと当社が初めて共同で敷地内生物調査を実施しました。鳥、昆虫、植物についてそれぞれの分野の専門家が四季を通して種名や個体数などを記録。鳥や昆虫は建設前より種数が増え、木々も大きく生長していることなど、開業から15年にわたって続けてきた維持管理の成果を確認することができました。当社は、今回の調査結果を今後の取り組みに活用し、多くの皆さまに親しんでいただける豊かな環境づくりをさらに進めていきます。

調査結果は、生物多様性の保全に取り組む 当社としてのアピールになると思います

大成建設さまから、15年もの間、継続的に動植物の変化を見ている当社は、ほかにはあまりない先駆的な例だとお聞きしました。ですから、今回の調査結果も貴重な資料になると思っています。当社がテーマとしている生物多様性の保全のために、敷地内にどんな植物や鳥、昆虫がいるかを把握するのは大事なことですし、それが当社としての一つのアピールにもなるはず。敷地内を管理するにあたっては、場所によって管理の仕方を変えるようにしています。例えば、ボタニカルゾーンはできるだけ人の手をかけず自然の姿を生かすようにしていますが、風が吹けば枝が落ちますし、あまり葉が茂ると歩く時に薄暗く感じるので、必要最低限の管理をしています。一方、駐車場などは

車や歩行者の安全を優先し、こまめに剪定をしています。また、たくさんある草地の管理も、伸びすぎず、短すぎず、刈るタイミングも花が咲く時期は避けるなど、それぞれ配慮が必要です。手をかけて毎日管理をしていますし、これだけの緑がある環境なので、もっと多くの方に散策などを楽しんでもらえたらと思っています。これからも、設計段階からのコンセプトを尊重し、今の環境の維持に努めていく考えです。

施設部 施設管理課 課長 小嶋山 尚登



周囲の環境との良好な生態系のネットワークが 構築されていることがうかがえました

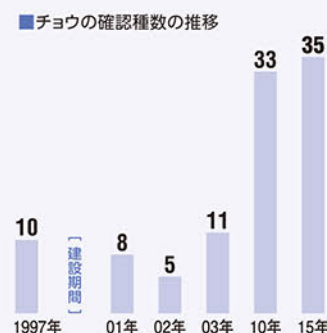
札幌ドームさまの特徴として、市街地にありながら羊ヶ丘の緑に隣接した自然に恵まれた立地にあること、約31haの広大な敷地に周囲の自然環境と調和した緑地が育まれ、良好な管理により継続的に守られていることがあります。これほど自然に恵まれたスポーツ施設は、ほかにはないのではないのでしょうか。大成建設では、施設の計画段階から生物のモニタリング調査を行ってまいりましたが、生物の種類も年々多様になっており、市街地に近い場所ではなかなか見られないような鳥やチョウ、トンボが、安定して数多く訪れています。周囲の環境との良好な生態系のネットワークが構築されていることがうかがえます。また、数には表れないの

ですが、2015年の調査では、野鳥が樹洞や巣箱などを利用して子育てをする姿も数多く見られています。子育てに十分なだけの餌を確保できる豊かな環境が、15年の間に育まれてきたのだと思います。札幌ドームさまでは、このほかにもエゾリスなどの動物の姿や季節の花、木々の紅葉、雪景色など、自然に気軽に接することができます。この環境をより多くの方に利用していただきたいですね。

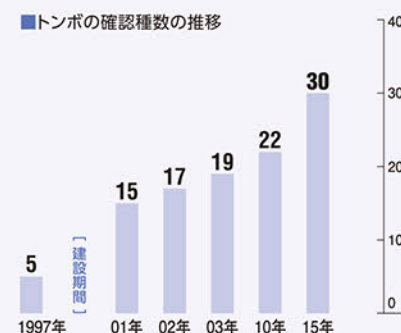
大成建設株式会社 環境本部 環境計画部
スマートコミュニティ推進室 課長 内池 智広 さま



より多様な種が飛来し、子育てする姿も確認
確認種数は5年前と同数となりましたが、2015年にも新たな種が確認され、累積確認種数は増加。2015年は多くの繁殖行動も確認されました。



植物の生育状況の影響を受け、確認種数が増加
植物の生育状況などの影響もあり、確認種数は増加。今後、植生を充実させることでさらなる定着も見込まれます。



生息環境の向上で新たな種が定着
市街地に隣接し、水域規模、緑地面積が限られる中で多くの種を確認。前回調査で未確認の種も定着し、生息環境の向上が見られます。

15年間で樹木が大きく生長し、 敷地内はより緑豊かな環境へ

敷地内の樹木などは、適切な維持管理を続けてきたことで大きく生長。今回調査で確認された81科313種のうち163種は植栽種、150種が建設以前からの残存種または侵入種の植物でした。

■ボタニカルゾーン



■遊歩道周辺



■調整池



生物調査を行った専門家を講師に迎え、 自然観察会「札幌ドーム 生き物探検隊！」を初開催

札幌ドーム敷地内の緑化の成果や生態系の豊かさを知ってもらうために、小学生と保護者さまを対象にした自然観察会を初めて開催。生物調査を行った専門家を講師に迎え、敷地内を巡って鳥の観察や昆虫採集などをしていただきました。

自然観察会の詳細はP.41をご覧ください。



お客さまのご意見をうかがうオンラインリサーチを より充実させるため、アンケート、座談会に加えて 「モニター観戦」を実施しました



札幌ドームをより楽しく、安心・安全・快適にお過ごしいただける施設とするため、インターネットアンケート「オンラインリサーチ」を2012年度から実施しています。2015年度は前年度に引き続き、モニターを募集してアンケートにご協力いただいたほか、モニターと当社役員・社員による座談会を開催。加えて、サッカーと野球の「モニター観戦」を新たに実施しました。



「オンラインリサーチ」モニターアンケートは、毎月1回、Eメールでモニター宛てにお送りするウェブページにて、各回のテーマに沿った質問にご回答いただく形式で実施。お寄せいただいた声をふまえて、サービスや施設・設備の改善、利便性向上を目指し、積極的な取り組みをすすめています。アンケート結果などの「オンラインリサーチ」の詳細や、これまでの改善事例などは札幌ドームウェブサイトでご覧いただけます。



モニター座談会では、これまでにお客さまの声などを反映して改修した館内の主な箇所などを見学いただいた後、「今後の札幌ドームに期待すること」などをテーマに意見交換を行いました。モニターの皆さまからいただいたご意見・ご感想はすべて社内でも共有し、札幌ドームをより良くしていくための参考とさせていただきます。



普段はあまり観ないイベントのモニター観戦後、 アンケートにご協力いただきました

普段あまり観ていない札幌ドームでのイベント（コンサドーレサポーターの方はファイターズ戦、ファイターズファンの方はコンサドーレ戦）をご覧いただく機会になれば、との趣旨で実施しました。いつもの観戦とは異なる試合や雰囲気を経験いただき、観戦後にはアンケートにご協力いただきました。

■実施期間：2015年6月2日～10月5日
（計5回実施）
■モニター人数：計108名
※当初は100名を予定していた募集人数を拡大し、ご応募いただいた108名全員を選定させていただきました。
第1回：飲食サービスについて
第2回：施設・設備について
第3回：ウェブサイト・広報誌について
第4回：札幌ドームと周辺の
フランチ・デコレーションについて
第5回：運営会社について

■実施期間：2015年10月2・3日
（計2回実施）
■参加人数：計11名
※モニターの中から41名のご応募をいただき、11名の方にご参加いただきました。

■実施期間：2015年6月10日～7月8日
（計7試合）
■モニター人数：計75名

お客さまの声を反映させ より利用しやすいウェブサイト

より見やすく使いやすいウェブサイトを目指し、飲食売店一覧やアリーナビューの改良、コンテンツの充実などを図りました。お客さまからの声も反映させ、ご利用いただきやすいサイトの維持・改良に努めています。



“札幌ドームファン”である お客さまの声を反映し、 変化し続ける施設を目指して

モニター座談会に出席して感じたことは？

吉田 私は今回、初めて参加させていただき、モニターの皆さまがお客さまの代表という気持ちを持って、真摯に札幌ドームのことを考えてくださっていると強く感じました。前は2日間で18名に参加いただきましたが、今回はより掘り下げてご意見をお聞きできればと、2日間で11名に人数を絞らせていただき、お一人あたりの発言時間を長く取って活発に意見交換していただきました。札幌ドームは自分にとって特別な場所なので、もっとほかの人に発信していきたいと思ってくださった方がいたことも印象的でした。私たちも札幌ドームは一つのブランドだと思っていますが、管理運営の責務を果たし、よりお客さまに楽しんでいただける施設にしていけることを改めて肝に銘じました。

北條 電話やメール、コミュニケーションコーナーなどへ寄せられるお客さまの声には、普段から回答をさせていただいていますが、生の声をうかがうのは私にとって今回が初めての経験でした。座談会では、例えば建物自体を建て替えることが必要など、私たちの立場も説明し、直接話すことでよりご理解いただけたように思います。館内の改修箇所などを見学した際には、女性用トイレのパウダースペースのフックを増やしてほしいなどのご要望があり、よくご来場されるお客さまならではの声にしっかりと耳を傾けていく大切さを再認識しました。

お客さまの声を直接お聞きする意義は？

吉田 札幌ドームはオンラインリサーチのほかにも、お客さまの声を直接お聞きするさまざまな機会を用意しています。そうした声を月2回、集約して社内でも共有し、各担当部署で検討しています。細かなことでもお客さまの立場からのご意見をどんどんいただけることはありがたく、それに添えて私たちも日々変化していきたいと思っています。ただ

実際の改善では、簡単にできるもの、お金と時間はかかるけれど何とかできるもの、施設の構造上ほぼ不可能なもの、いくつかのタイプに分けられます。改善できるものはすぐに対応し、難しいものについても補完するために何かできることはないかと検討を重ねています。例えば、座談会で階段が急なのでトイレに行くのが大変だというご意見が出ましたが、傾斜を変えるには建物を建て替える必要があるので難しいということをご説明する一方で、課題を少しでも緩和するために、手すりの両側への増設や2階コンコースのトイレ増設などを進めたいとお話ししました。当社は中期経営計画で「ブレークスルー」をキーワードとして掲げています。今まで乗り越えられない課題等で無理だと思っていたことも一旦打ち破り、新しい発想で挑戦することにも取り組んでいきます。



オンラインリサーチを今後どう活用していきますか？

北條 毎年続けていくと、同じような意見は少なからずありますが、続ける意義は、お客さまのニーズ自体が変化していくからではないかと思っています。開業から15年たった今、時代とともに設備も物も進化するし、お客さまによっては開業時に感じなかったことが少し不便に感じることもあります。そうしたニーズに応えられるように私たちは毎年、オンラインリサーチを通してお客さまに変わるべき点についてご意見をうかがっていきたく思います。お客さまの声やニーズに合わせて変化する施設にしていけることが、札幌ドームファンを増やすことにつながるのではないかと考えています。

吉田 お客さまの利便性を考えるとハード面とソフト面があり、今後も両方の側面からお客さまにご意見・ご提案をいただいたうえで、札幌市、主催者さまと一緒に改善策を考えていきたいと思っています。座談会でお客さまの生の声にふれたことで、ご要望に応じていきたいと気が引き締まりました。当社の社員一人ひとりが、この施設が大好きです。その大好きな札幌ドームをすべてのステークホルダーの皆さまに満足してもらえる施設にしていきたいという思いを持っており、それがお客さまにも札幌ドームに愛着を持っていただくことにつながっているのかもしれない。今後、国際的なイベントも開催予定ですし、さらに誇りに思っている施設にしていきたいと考えています。



左から 総務部 総務課 主任 北條 なお 事業本部長 吉田 圭吾



すべてのお客さまの安全と安心のために

すべてのお客さまにとって、安全が当たり前であること、常に安心して札幌ドームを楽しんでいただくことを何よりも大切にしています。



- P.12 市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために
- P.13 地震や火災などの発生に備え、防災体制の強化を図っています
- P.14 大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化しています
- P.14 4万人のお客さまの「食」の安全を守ります



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために

市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくために、施設設備の維持保全に努めているほか、来場者サービス向上や安全対策を目的とした改良工事を行っています。



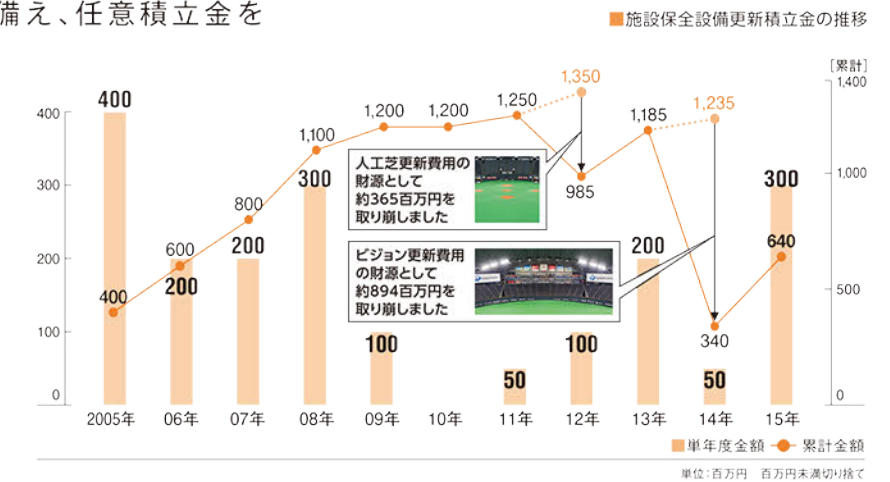
施設設備の維持保全

施設所有者である札幌市と連携しながら、施設設備の維持保全や改良工事などを適切に進めています。お客さまの安全を最優先として、日頃より施設設備の点検や必要な修繕、設備更新などを行うほか、清潔で気持ちの良い空間を提供するため、毎日の清掃やイベント後の清掃に加えて西棟や展望台のガラスなどの特別清掃も実施しています。



中長期的な維持保全に備え、任意積立金を積み立てています

中長期的に必要な大規模な設備更新・維持保全に備え、利益の多くを「施設保全設備更新積立金」(任意積立金)として積み立てています。この積立金の一部を取り崩し、2012年度に人工芝更新、2014年度には大型ビジョンの更新・増設を行いました。



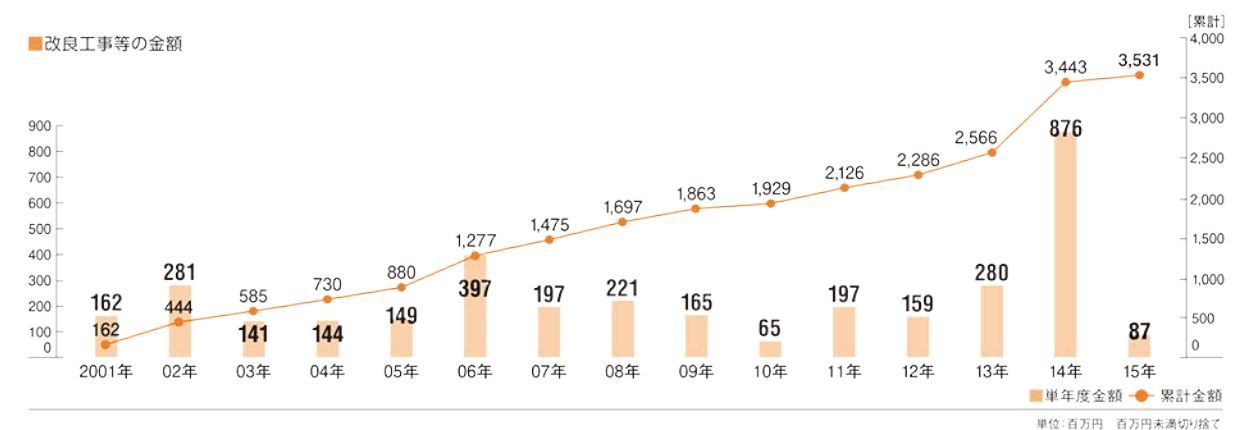
施設設備の改良工事等を実施

お客さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施しています。

お客さまからのご要望による改善事例はP.26をご覧ください。



改良工事等の金額



地震や火災などの発生に備え、防災体制の強化を図っています

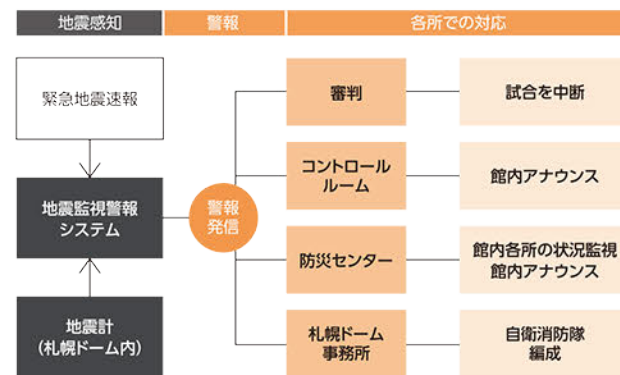
大規模地震対策として地震監視警報システムを導入するなど、防災体制の強化を進めるとともに、関係機関の皆さまと連携して訓練に繰り返し取り組み、万が一の事態に備えています。



地震監視警報システムを導入し、総合防災訓練などを繰り返し実施

地震初期のP波をとらえて警報が発信される地震監視警報システムを2012年3月に導入しました。また、消防法に基づく消防計画を作成し、火災を想定した防火訓練、大規模地震を想定した総合防災訓練などを実施。2015年度は北海道日本ハムファイターズさま、委託事業者さまなどと協議のうえ、訓練シナリオを伏せたうえで、実際の状況に近いかたちでの訓練に取り組んだほか、館内の消火栓を使った消火訓練なども行いました。

■地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制（イメージ図）



VOICE

さまざまな角度から想定・検討をしながら防災体制を強化

社員の意識を改めて高めるために防災設備の使用方法などを確認

札幌ドームでは、火災や地震などの発生に備えて、イベント中を想定した訓練と、イベントを開催していない通常営業日を想定した訓練の2種類を実施しています。毎年、繰り返し訓練に取り組み、その度に対応の体制や方法などを細かく見直し、検討を重ねることで、お客さまの安全をより確保できる防災体制づくりを目指しています。2015年度はほかにも、防災・防火に関する社内講習で防煙垂壁や防火戸などの防災設備の設置場所や使用方法を確認したほか、消火栓を使った消火訓練などを実施しました。実際に設備に触れ、使ってみることで、社員に万が一に備える意識を改めて高めてもらう機会をつくりました。社員には、災害時の札幌ドームでの対応要領や消火栓の使い方などを記載した防災カードを配布していますが、これも読んでもらうだけでなく内容の解説を行うなど、社内全体の防災意識をさらに高める取り組みを考えていきたいと思っています。

さらなる安全確保を目指して防災体制のレベルアップを

救命体制の強化の一環として、2015年度はAEDを3か所増設して計11か所に設置しました。これは、スタンドで体調不良になったお客さまがいらっしゃることから、素早く使用できる場所にAEDを増設してほしいというスタッフの要望を受けて対応しました。さまざまな可能性を考慮して準備を整えているつもりでも、実際に対応してみたり、実際に起こった震災の被害などを見たりすると、考えもつかなかった課題が見えてくることがあると再認識し、今後でもできる限りの想定をして準備しなければと気を引き締めています。お客さまの安全のために、防災体制のさらなるレベルアップを目指していきます。

施設部 施設管理課 主任
飯野 薫大



札幌ドームの防災システム

防災センターを中心にした総合消防防災システムなどを完備。全館に火災通報設備、非常照明設備、初期消火設備としてアリーナ・スタンド・コンコースなどに消火器や屋内消火栓、放水銃を設置し、消防用水を4か所に確保。非常用発電機も設置しています。



●放水銃 ●防災センター

優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。防災センターに設置された総合操作盤を中心とする総合消防防災システムへの評価などで、竣工時に優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。

大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化しています

札幌ドームのすべてのお客さまにとっての安全を最優先に考え、関係機関の皆さまとも協力して警備体制を強化。救命処置などにあたる体制も整え、お客さまに安心して楽しんでいただける環境整備に力を入れています。

警備体制の強化に取り組んでいます

センサーや遠隔監視システム等を用いた機械警備と、警備員による巡回警備のほか、イベント開催時には警察・消防・主催者さまと連携してお客さまの安全を確保。2015年度は、前年度から始めた接客意識向上のための「接客強化月間」を継続して実施しました。



救命体制を強化しています

AED（自動体外式除細動器）を屋内外に計11か所設置し、使用方法などについて学ぶ普通救命講習を社員が受講。また、館内27か所に担架を設置しており、緊急時に備える体制を整備しています。



■普通救命講習



■担架収納箱

■札幌ドームのAED設置箇所（11か所）



大規模イベント開催時は館内に医務室を用意し、医師や看護師の手配を主催者さまに依頼。そのほかのイベントでも応急処置が可能な体制にしています。

4万人のお客さまの「食」の安全を守ります

保健センターや民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理を行っています。飲食事業者さまとともに、おいしさと衛生面の両立を図っています。

衛生管理のための対策を推進

飲食売店などの新人スタッフ、社員・リーダーなど対象ごとに食品衛生講習会を実施しています。また、札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会」では、重点的に取り組む4つのマイルールを策定して徹底を図り、「食」のさらなる安全を目指しています。



札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）を徹底し、売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識の向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに来院するお客様に安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して2009年6月に創設した制度で、札幌市内の生産者・食品事業者・食品関連団体が対象となります。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して積極的かつ自主的に取り組んでいることから、重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取り組み結果を市長に報告します。

最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめコンサートや展示会などのさまざまなイベントを円滑に開催し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台を常にご用意しています。



P.16 さまざまなイベントに対応し、最高の舞台を提供します

P.17 札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに



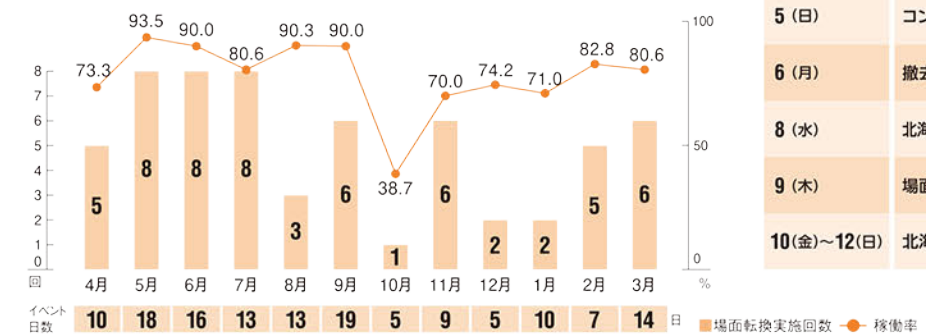
さまざまなイベントに対応し、最高の舞台を提供します

トップアスリートやアーティストをはじめ、ご来場いただくすべての皆さまにご満足いただけるように、札幌ドームは最高の舞台を提供するためのさまざまな努力を続けています。

多様なイベントスケジュールに対応し、場面転換作業を実施

札幌ドームの多目的利用を可能にしているのは、野球、サッカー、コンサートなど目的に応じたモードへのアリーナの転換作業です。スケジュールを調整して各主催者さまのご要望に応え、2015年度は計60回の場面転換作業を行いました。トップアスリートのパフォーマンスを支えるプレー環境提供のため、芝生やグラウンドの管理・整備も徹底しています。

■2015年度の場面転換実施回数および稼働率



■場面転換の実施例

	当日の実施イベント	イベント終了後の場面転換
2 (木)	北海道日本ハムファイターズ戦	
3 (金)	場面転換・設営	野球→コンサート
4 (土)	設営	
5 (日)	コンサート	
6 (月)	撤去・場面転換	コンサート→サッカー
8 (水)	北海道コンサドーレ札幌戦	
9 (木)	場面転換	サッカー→野球
10 (金)~12 (日)	北海道日本ハムファイターズ戦	

さまざまなイベントの舞台として対応

サッカーや野球のほかにも、コンサートをはじめモーターショーや合同企業説明会など、アリーナを舞台とするさまざまなイベントを誘致・開催しています。



■2015年度 イベント種別一覧

スポーツイベント	
野球	
●北海道日本ハムファイターズ戦	●WBSC世界野球プレミア12(日本vs韓国)
サッカー	
●北海道コンサドーレ札幌戦	
コンサート	
●サザンオールスターズ	●三代目J Soul Brothers
●Mr.Children	●嵐
●DREAMS COME TRUE	●ももいろクローバーZ
コンベンション・その他	
●札幌モーターショー2016	
●北ガスグループ6時間リレーマラソン	
●リアル脱出ゲーム×ONE PIECE	
●豊平区×札幌ドーム スポーツバイキング	
●アリーナランニング&ウォーキング	
●かんぽ生命presentsふわふわアドベンチャー	
ほか	

多目的利用を可能にする世界初のシステム

天然芝のホヴァリングサッカーステージが移動。野球とサッカーの場面転換を行う世界初のシステムが、札幌ドームの多目的利用を可能にしています。



- 1 野球フィールドの人工芝を巻き取り、開口部を開放、開閉式可動席を収納します。
- 2 ホヴァリングサッカーステージの移動と運動して旋回式可動席も移動させます。
- 3 ステージがクロードアリーナに到着後、旋回式可動席とともに90度回転し、野球の内野席とサッカーのメインスタンドを一致させます。
- 4 開口部を閉じ、開閉式可動席を復元してサッカーモードへの転換が完了です。

札幌ドームで活躍する 2つのプロチームとともに

「北海道コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」。市民道民に愛される2つのプロチームを支えるとともに、サポーターやファンの皆さまにより楽しんでいただけるように、さまざまなかたちで協力しています。



スポンサーデーを開催しました

フランチャイズチームのさらなる活躍を願って、さまざまな企画を盛り込んだスポンサーデーを毎年開催しています。北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズそれぞれの試合で、札幌ドームメンバーズクラブ会員さまを対象にしたイベントなどを行いました。



■ミニタオルマフラーをプレゼント

北海道コンサドーレ札幌戦のスポンサーデー来場者先着2万名さまにオリジナルミニタオルマフラーをプレゼント。



■展望台特別営業で飲食クーポン

北海道コンサドーレ札幌戦では、展望台特別営業を利用のお客さまに札幌ドーム飲食クーポンを抽選でプレゼント。



■メンバーズクラブ入会キャンペーン

札幌ドームメンバーズクラブ新規入会キャンペーンを実施し、抽選会などを行いました。



■紙扇子をプレゼント

北海道日本ハムファイターズ戦のスポンサーデー来場者先着2万名さまにオリジナル紙扇子をプレゼント。



■「106円チケット」販売

札幌ドームメンバーズクラブ会員さま対象の企画として、北海道コンサドーレ札幌戦チケットの特別価格販売を実施。



■カード利用でポイント5倍

札幌ドーム内店舗で札幌ドームメンバーズクラブカードのクレジット決済利用により通常2倍のポイントを5倍に。



■フラッグキッズや始球式などの参加型イベント開催

札幌ドームメンバーズクラブ会員さまをはじめお客さまに参加いただくイベントを開催。北海道コンサドーレ札幌の試合前に登場するフラッグキッズ、北海道日本ハムファイターズの始球式などの参加者を募集しました。



芝生の育成管理を徹底しています



北海道コンサドーレ札幌の選手が最高の状態でプレーできる環境を維持するため、芝生の育成状況などを日々確認しながら整備。試合前日に屋内で練習できるよう日程調整などでも協力しています。

■試合開始直前までメンテナンス
試合前の練習で芝生に空いたスパイクによる穴などは、試合開始直前のわずかな時間に補修。また、試合当日の早朝まで送風機を使って、芝にとって極力屋外と同じ環境を整えています。



試合・練習環境の整備に協力しています

北海道日本ハムファイターズ試合日以外の札幌ドームでの練習の要望にできるだけ応えられるよう調整。マウンド整備やバッティングケージの準備など、常に良好な試合・練習環境を提供しています。



■試合中の約2分で中間整備
試合中は1塁側ベンチそばにあるグラウンドキーパー室からボールの弾み具合などを注視。5回裏終了時の「YMCAダンス」が行われる約2分で、整備作業を行っています。



札幌ドームで最も活躍した選手に 「札幌ドームMVP賞」を贈っています

2004年度から、その年に札幌ドームで最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈呈。2015年度のサッカー部門は北海道コンサドーレ札幌の宮澤裕樹選手、野球部門は北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手が受賞しました。



より多くのお客さまに楽しんでいただくための協力を行っています

イベントや飲食メニューの企画、チケット販売などに協力し、より多くのお客さまにご観戦いただけるよう両チームと連携を図っています。



■コンサドーレ太鼓判メニュー
クラブカラーの赤と黒を配した商品など北海道コンサドーレ札幌戦限定メニューを販売。



■赤黒戦士イチオシメニュー
スポンサーデーを含めた2試合で北海道コンサドーレ札幌の選手おすすめ商品を販売。



■ファイターズ絶品グルメ
選手にちなんだメニューなど、北海道日本ハムファイターズ戦限定フードメニューを販売。



■応援・選手弁当
人気選手や対戦チームの本拠地にちなんだおかずを取り入れた弁当を試合時に販売。



■ビール半額デー
多くのお客さまにご好評をいただいているビール半額デーを3日間実施しました。



■展望台特別営業

試合の観戦チケット提示で入場料金を割引する特別営業を実施しました。



■屋外イベントや各種企画への協力

屋外テラスやオープンアリーナを開放してお楽しみいただくイベントのほか、札幌ドーム敷地内で開催する「ファイターズ花火大会」などに協力しています。



■コンサドーレ応援特別チケット

割引価格のS指定席やビールチケット付きなどのコンサドーレ応援特別チケットを販売。



■他会場チケット販売支援

他会場の一部の試合チケットも札幌ドームメンバーズクラブ会報誌などで告知し、販売。

最寄り駅・地下鉄「福住駅」構内に 選手などをモチーフにした装飾を行っています

札幌市交通局、北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズと連携し、地下鉄「福住駅」構内にチームスローガンや選手写真を設置しています。



2つのフランチャイズチーム



札幌ドームは北海道コンサドーレ札幌のクラブパートナーとして、北海道日本ハムファイターズの出資企業として協力を行っています

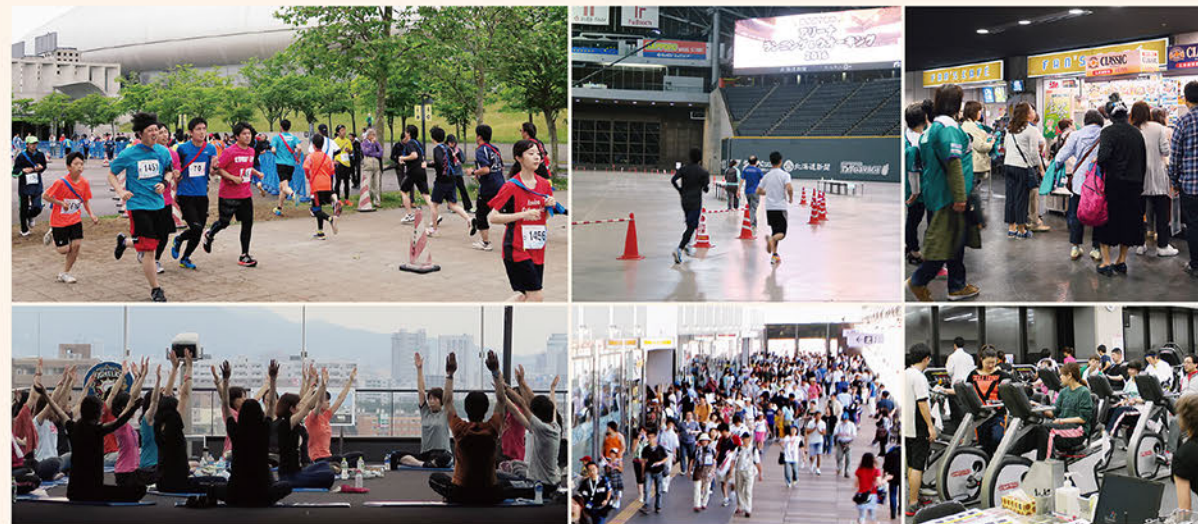
●北海道コンサドーレ札幌
1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームをホームスタジアムとし、熱いサポーターとともに気迫あふれるプレーを展開。

●北海道日本ハムファイターズ
2004年に本拠地を北海道に移転。4度のリーグ優勝に輝き、地域密着の理念に基づいたファンサービスで道民球団として定着。



より楽しく、より快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食・物販事業をはじめ自主・共催イベントの開催や市民利用などの充実を図っています。



- P.20 スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように
- P.21 ショッピングをお楽しみいただくために
- P.21 観光をお楽しみいただくために
- P.22 より便利に楽しくご利用いただくために
- P.23 新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して
- P.24 市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

スタジアムグルメを思う存分 お楽しみいただけるように

札幌ドームでイベントとともにスタジアムグルメを
思う存分お楽しみいただけるように、
メニューの充実はもちろんサービス面の強化にも力を入れています。

サービス品質向上のための取り組みに力を入れています

「接客ロールプレイングコンテスト」を 2015年度も引き続き実施しました

札幌ドームをさらに楽しんでいただくため、飲食事業者さまとともにサービス品質向上の取り組みを進めています。その一環として、前年度から行っている飲食販売スタッフによる「接客ロールプレイングコンテスト」を2015年度も実施。売店部門・スタンド仲売り部門それぞれで仮想営業を行い、審査員役である各店舗責任者や当社社員に接客して対応などを評価しました。結果は各店舗スタッフが目にする場所に掲出し、表彰を受けたスタッフは「接客ナンバーワン」などのバッジをつけて接客をしてもらうことで、意識やモチベーションの向上につなげています。



覆面調査を実施後、結果を接客に 反映させるため講習会でフィードバック

年に数回、覆面調査を行って各店舗の接客の様子などをチェックし、結果をフィードバックする講習会を実施しています。いろいろな役職・立場のスタッフが集まって議論することで、新たな視点や他店舗の取り組みなどを知ることができ、サービス品質の向上につながっています。

店舗名	調査日時	調査内容	結果
売店A	2015.10.10	接客態度	良好
売店B	2015.10.10	接客態度	良好
売店C	2015.10.10	接客態度	良好
売店D	2015.10.10	接客態度	良好
売店E	2015.10.10	接客態度	良好
売店F	2015.10.10	接客態度	良好
売店G	2015.10.10	接客態度	良好
売店H	2015.10.10	接客態度	良好
売店I	2015.10.10	接客態度	良好
売店J	2015.10.10	接客態度	良好

「店長塾」の実施により さらなるサービス品質向上へ

各飲食事業者さまの店長が参加して学び合う「店長塾」を年3回実施。従業員満足度についての調査結果を共有し、従業員満足度を顧客満足度につなげていくにはどのようにしていくかなどを話し合い、接客やサービスのさらなる品質向上を目指しています。



お客さまに楽しんでもいただける 飲食メニュー・企画を展開

バラエティに富んだお弁当や飲食メニューなどの開発を積極的に展開。さまざまなメニューをさらに楽しんでもいただくために、スクラッチカードで割引券が当たるキャンペーン企画や期間限定メニューなども実施しました。

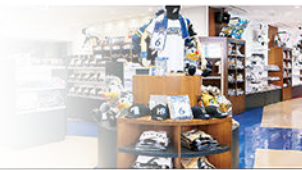


お客さまの安心のため、お弁当のアレルギーマニュアルを発信しています

アレルギーをお持ちのお客さまにも安心して選んでもいただけるように、館内で販売しているお弁当に含まれるアレルギー物質の情報は、POPやパンフレットのほかウェブサイトでもお知らせしています。

ショッピングをお楽しみいただくために

ご来場いただくお客さまに、札幌ドームならではのグッズなどのショッピングも十分に楽しんでいただけるように、店舗や商品などの充実に取り組んでいます。



フランチャイズチームとのコラボグッズや 札幌ドームオリジナルグッズも企画・製作しています

北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの公式グッズをはじめプロ野球やメジャーリーグなどのグッズ、お土産用の菓子類などを豊富に取りそろえています。チームとのコラボグッズ、札幌ドームオリジナルグッズの企画・製作にも力を入れています。



■ショルダー巾着

札幌ドームを文字でイメージしたデザインで、ご購入いただいたグッズを入れたり、来場記念としてもおすすめです。



■スタンドシートバッグ

札幌ドームの座面下にピッタリ装着できる仕様のオリジナルグッズ。床に触れないため荷物汚れません。



■北海道コンサドーレ札幌コラボグッズ

北海道コンサドーレ札幌(CS)・札幌ドーム(D)のコラボグッズ「CS&D」シリーズを札幌ドームで限定発売。



■ファイターズミニタペストリー

札幌ドーム限定の北海道日本ハムファイターズグッズ。全30種類で、当たりが出るとジャンボタペストリーをプレゼント。

観光をお楽しみいただくために

札幌ドームは観光の拠点としてもお客さまをお迎えしています。訪れたお客さまによりお楽しみいただける魅力づくりに努めています。

デジタルサイネージを 総合案内に設置しました

チケットやドームツアーなどに関する情報を分かりやすく伝えるため、総合案内にデジタルサイネージを設置。海外からのお客さまにも対応するため多国語での表記を行い、情報量や内容についても充実を図りました。



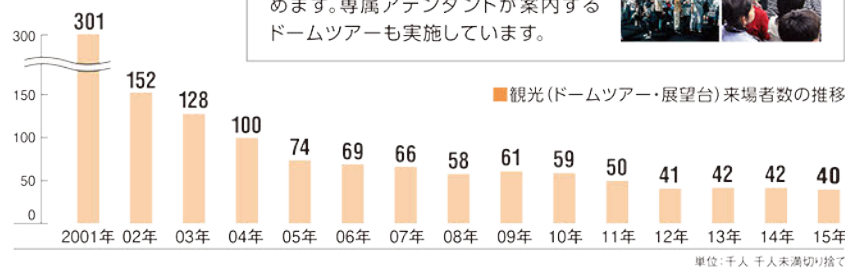
ドームツアー・展望台ご利用の お客さまに期間限定プレゼント

12月から1月の期間限定で、ドームツアーまたは展望台をご利用いただいたお客さまにクリスマス・新年バージョンのオリジナルポストカードをプレゼントしました。



試合日の展望台特別営業を実施

北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの対象試合日に、観戦チケット提示で入場料金が割引になる展望台特別営業を行いました。



より便利に楽しくご利用いただくために

ご利用いただくお客さまにとって、より便利で楽しい札幌ドームを目指して、さまざまな面から利便性向上やサービスの拡充を進めています。

ヨガやピラティスを楽しむ 「展望台運動教室」を開催

展望台で大パノラマを眺めながら、ヨガやピラティスを楽しむ運動教室を開催。展望台の新たな魅力にふれた参加者の皆さまから、ご好評をいただきました。



敷地内を巡ってクイズに答える 「サマーくいずラリー」を実施

夏休み期間中の観光営業日に、敷地内6か所に設置された札幌ドームに関するクイズに答えると参加賞をプレゼントする企画を実施。夏休み中の計20日間実施し、親子づれを中心に1,084名のお客さまに参加いただきました。



VOICE

札幌ドームが持つさまざまな魅力をさらに発信していきます

運動教室の開催を通して、展望台の 新たな活用の可能性を広げられました

「展望台運動教室」を新たに企画したのは、展望台の基本営業時間が18時までのため、夜景がきれいな時間帯を活用して何かできないかと考えたのが始まりです。そこで、トレーニングルームで実施している「運動教室」と連携し、展望台を会場にした企画を開催しました。また、私たちの部署は札幌ドームメンバーズクラブの運営も担当しているので、会員割引料金を設定し、会員サービスの充実と展望台の活用を目指すことにしました。ヨガは特に展望台の雰囲気にピッタリと合い、「リラックスできる」「夜景を楽しみながら体を動かせる」と大変好評でした。夏の期間は、夕焼けから日が沈んで夜景が広がるまでの移り変わりも見ることができ、景色



が良いという声がとても多く、気持ち良かったと喜んでいただけました。展望台やトレーニングルームは初めてという参加者もいたので、これをきっかけに利用していただければうれしいです。展望台という場所が持つ魅力を再認識し、可能性を感じたので、展望台を活用した企画をさらに検討していきたいと思います。

イベント以外にも来場していただける きっかけづくり・魅力づくりを

もう一つの新しい企画として実施した「サマーくいずラリー」は、イベント以外にも来場していただくきっかけになればと考えたもので、期間中にクイズの内容や参加賞を変えて、何回でも参加してもらえるようにしました。こうした機会に親しみを持ってもらい、札幌ドームのことを好きになってもらえたらうれしいですね。イベントのイメージが強い札幌ドームですが、ほかにもいろいろな魅力があることを多くの人に知ってもらい、新たな魅力を発信していきたいと思っています。

商業部 事業推進課
佐藤 美保子



スタンプを集めて特典が選べる 「スタンプカード」を実施

館内の店舗などのご利用でスタンプ(シール)を20個集めると、賞品が当たる抽選に応募または対象店舗で100円券として利用できる「スタンプカード」を実施しました。



さまざまな特典を会員の皆さまへ 「札幌ドームメンバーズクラブ」

札幌ドームメンバーズクラブは、会員特典としてチケットの先行販売・割引販売のほか、会員限定のイベントなども開催。ご入会・ご紹介キャンペーンなども実施しました。



新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して

札幌ドームの新たな魅力を発信し、さまざまなお客さまにさらに楽しんでいただけるように、当社が企画・運営を行う自主・共催イベントの開催にも取り組んでいます。

アリーナをコースとして開放する特別企画 「アリーナランニング&ウォーキング」を初開催

札幌ドームの屋内アリーナをコースとして開放し、「アリーナランニング&ウォーキング」を初めて開催。運動の機会が少なく、なりがちな年明け早々の時期に、1周約400mのランニングとウォーキングのコースを設けて1日無料でご利用いただいたほか、「親子で学ぼうランニング教室」なども実施しました。新年走り初めとして楽しんでいただくとともに、札幌ドームをより身近に感じていただく機会にもなりました。



北ガスグループ 6時間リレーマラソン

2015年度で開催5回目を迎え、参加者の皆さまが毎年楽しみにしてくださるイベントとして定着。家族や職場の仲間などでチームを組み、1周2kmの特設コースで6時間の周回数を競う種目などを実施しました。



かんぽ生命presents ふわふわアドベンチャー

スタンド席を利用した巨大すべり台やキャラクターなどさまざまな大型エアー遊具が屋内アリーナに登場。子どもたちに大人気の冬休み恒例のイベントです。



豊平区×札幌ドーム スポーツバイキング

豊平区と共同で企画し、札幌ドームを無料開放してスポーツのアトラクションを多数用意。運動教室やスポーツ・ゲーム体験など、子どもから大人までお楽しみいただきました。



体験型ゲームイベント 「リアル脱出ゲーム×ONE PIECE」

2013年度の初開催以来大好評をいただいている体験型ゲームイベントを2015年度も実施。「リアル脱出ゲーム×ONE PIECE 第二弾 頂上戦争からの脱出」として、人気漫画「ONE PIECE」の世界観を体験しながら参加者が制限時間内に謎を解き、脱出に挑むイベントをお楽しみいただきました。



展望台コンサート

札幌ドーム展望台で美しい夜景を眺めながら、クリスマスにふさわしい歌声と演奏をお楽しみいただく「X'mas Jazz Live」を開催しました。



わくわくサッカー教室

北海道コンサドーレ札幌の選手に協力をいただき、小学生を対象にしたサッカー教室を2回開催。Jリーグ終了後のピッチで、計145名が参加して指導を受けました。



市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

札幌ドームの屋内アリーナやサッカー練習場などを市民の皆さまにもご利用いただいています。また、地域の皆さまの健康のお役に立てるようにトレーニングルームも運営しています。

トレーニングルームの利用者数は過去最高 好評の無料開放デーも実施しました

気軽に健康・体力づくりができるトレーニングルームは、地域の皆さまに親しまれ、「札幌ドーム NIGHT RUN」利用を含めて2015年度は過去最高の利用者数となりました。日頃のご利用に感謝を込めて「トレーニングルーム&ナイトラン無料開放デー」を実施し、運動教室、姿勢判断測定、パーソナルストレッチなども同時開催しました。



VOICE

札幌ドームをもっと身近に感じ、利用して いただける機会の提供に取り組んでいます

ここ数年、トレーニングルームの利用者数が伸びています。トレーナーの皆さまが密にコミュニケーションを取って、お客さまがトレーニングしやすい環境をつくってくれていることに加え、運動教室の実施回数を増やしたり、展望台での運動教室を新たに実施したり、別の側面からもトレーニングルームを知っていただく機会が増えてきたことなど、いろいろな要因が重なった結果かと思っています。ナイトランも当初の予想を上回る人気で、市民ランナーの増加とともに、学生が冬場のトレーニングとして長い距離を走れる場所を探していることなどもあってご利用いただいているようです。そうはいっても、まだトレーニングルームを知らない方も多いため、無料開放などの機会にまずは足を運んでもらい、継続利用を後押しする環境もつくりたいと思っています。2015年度は、市民選元の意味も含めた「アリーナランニング&ウォーキング」を新たに実施しましたが、札幌ドームをもっと身近に感じてもらえる機会の提供を今後も増やしていけたらと考えています。

営業部 企画運営課
高橋 淳也

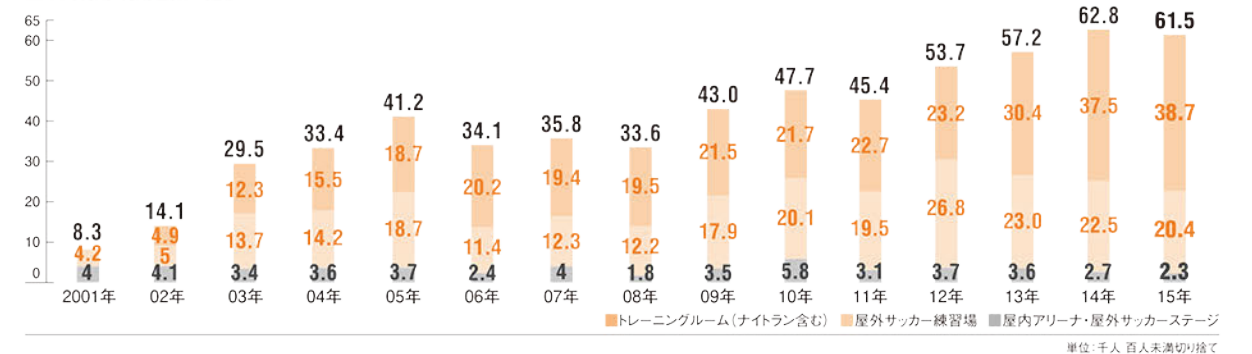


札幌ドーム NIGHT RUN

寒さや雪の心配をせず快適にランニングを楽しんでいただくため、3階コンコースの一部を1周716mの特設コースとして一般開放。今季は11月から4月までの計48日間実施しました。



■市民利用 利用者数の推移



野球・サッカー等一般利用

屋内アリーナは草野球をはじめサッカー、レクリエーションでも利用可能。サッカーは屋外の天然芝・人工芝練習場、ホヴァリングサッカースタジアムもご利用いただけます。



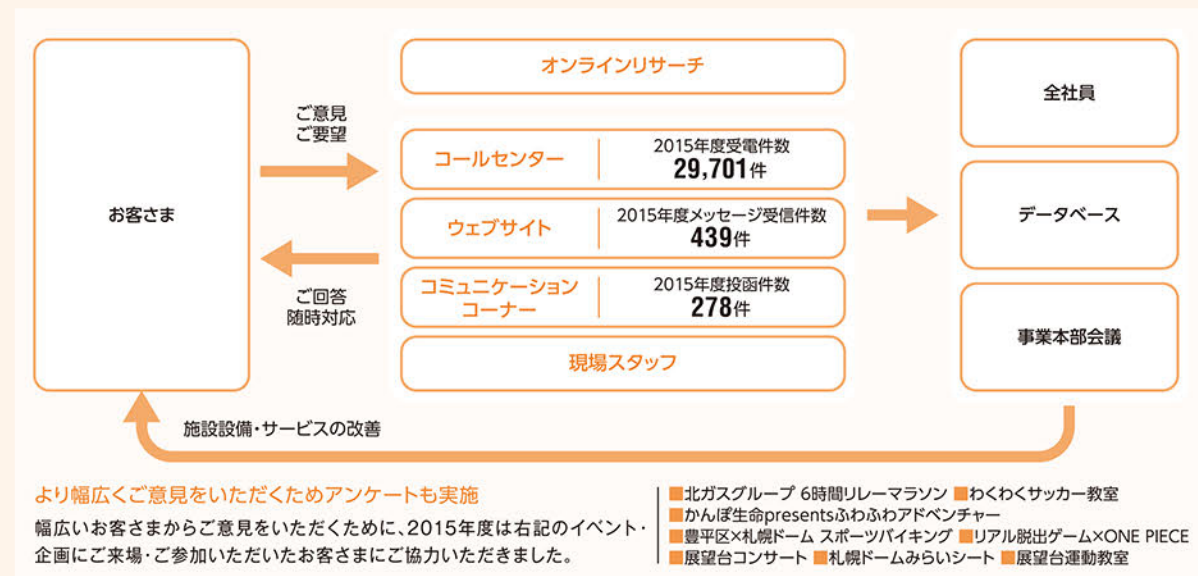
トレーニングルーム

各種トレーニングに対応できるマシンを設置。トレーナーが常駐しており、初心者も安心してご利用いただけます。利用料金は大人1回500円(入会金・年会費など不要)。



お客さまの声をかたちに

お客さまの声は、私たち札幌ドームにとって貴重な財産です。
 私たちにお届けいただいた声を少しでもかたちにできるように、
 学ぶ姿勢を持って、真摯に耳を傾けています。



コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに寄せられた貴重なご意見は、電子化して経営層を含めた全社員に配信。すべてデータベース化し、十分な検討が必要なご意見については、事業本部会議にて改善に向けた議論を重ねています。すぐに解決できないご要望などについては、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っています。

P.26 2015年度、お客さまの声がかたちとなりました



2015年度、お客さまの声がかたちとなりました

コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに加え、
 オンラインリサーチを通じてお寄せいただいたお客さまの声をふまえ、
 施設設備やサービスの改善などに取り組んでいます。

ご要望が多く寄せられていたトイレの設備などを改善

2015年度は、お客さまからご要望の声が多数寄せられていたトイレの設備などについて検討をすすめ、より快適に便利にお使いいただけるように改善しました。

地下2階トイレの洋式化工事を実施

コンサートや展示会、北海道日本ハムファイターズ戦(フィールドシート専用)などの開催時にご利用いただける地下2階トイレの洋式化工事を実施しました。



ハンドドライヤーを設置

お客さまからの多くのご要望をふまえ、トイレ内のハンドドライヤーの設置場所・設置数などを検討し、省エネ・低騒音に配慮したタイプを1・2階各トイレに設置しました。



おむつ替え用の設備を増設

ご要望にお応えし、1階コンコースの野球時外野側・サッカー時バックスタンド側トイレにおむつ替え台(女性用トイレ2か所)、おむつ替えシート(男性用トイレ2か所)を増設しました。



空き個室が分かるサインを工夫

個室が多数ある1階コンコース・地下2階のトイレは、混雑時に列先頭のお客さまが奥の状況を見つらいため、各ドアに突き出しサインを付けて空き個室がひと目で分かるようにしました。



2015年度のその他の改善事例

大型ビジョン右下部分にデジタル時計を設置

2015年3月更新の大型ビジョンは画面内に時刻を表示する仕様で、イベント演出時などは表示できなかったため、画面の表示内容に関わらず時刻が分かる部分にデジタル時計を設置。



開閉式可動席の壁面に手すりを設置

野球モードからサッカーモードへの場面転換作業時に収納される仕組みの開閉式可動席エリアの壁面にも手すりを設置。お客さまが階段の上り下りをしやすくなるように改善しました。



障がい者用駐車場エリアを150台分に拡大

駐車場の運用を変更することなどにより、新たに30台分のスペースが使用できるようになりました。これにより障がい者用駐車エリアを120台分から150台分に増やしました。



「オンラインリサーチ」モニター座談会でも改善事例などをご紹介

「オンラインリサーチ」では、サービスや施設・設備などの改善に向けてモニターアンケートを行っているほか、モニター座談会開催時には、お客さまの声を反映してこれまでに改修した館内の箇所などを見学いただき、当社の取り組みについても理解を深めていただいています。

オンラインリサーチ・座談会の詳細はP.9・10をご覧ください。



地域とともに成長するために

市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、
当社は地域社会に貢献する活動にも力を入れ、
地域社会の一員として、ともに成長していくことを目指しています。



P.28 地域社会のための取り組みに力を入れています
P.29 未来を担う子どもたちのために

地域社会のための取り組みに 力を入れています

地域社会の一員として、さまざまな事業を通じて
地域に貢献していくことに力を入れています。
また、地域の皆さまの活動のサポートにも積極的に取り組んでいます。

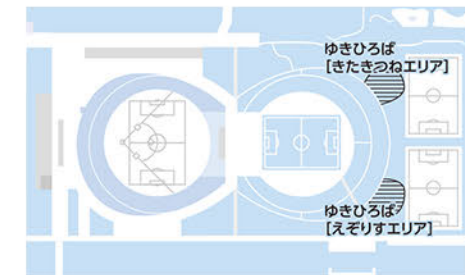
大型イベントの開催を通じて、地域経済の活性化に貢献しています

札幌ドームで開催するスポーツやコンサートをはじめとする大型イベントには、札幌市内はもちろん全道、全国各地からも多くのお客さまにご来場いただいています。これに伴い、お客さまには交通機関のほか飲食店、宿泊施設などもご利用いただくことから、札幌ドームも地域経済活性化の一端を担う役割を果たしています。

2015年度 イベント	開催日数	
スポーツイベント(北海道コンサドーレ札幌戦、北海道日本ハムファイターズ戦 ほか)	88日	2,088,922人
コンサート(サザンオールスターズ、三代目J Soul Brothers、嵐 ほか)	12日	522,571人
コンベンション・その他(北ガスグループ6時間リレーマラソン ほか)	39日	299,088人
計	139日	2,910,581人

地域の子どもたちのために「ゆきひろば」をオープン

冬期間、敷地内にある斜面を利用したエリアを開放し、雪遊びを楽しんでもらう「ゆきひろば」をオープン。そり、ゴムチューブでの遊び場として、無料の貸出用具も設置しました。1月から3月までの計38日間実施し、地域の子どもたちをはじめ外国人観光客の方を含む1,155名にご利用いただきました。



協賛・寄付活動に取り組んでいます

地域社会への貢献に力を入れている当社は、その一環として、北海道を代表するさまざまなイベントに協賛しています。また、「歳末たすけあい募金」への協力は2006年度から続けており、2015年度も展望台コンサートなどの収益金の一部を寄付。ほかにも、「カレンダーリサイクル市」、「チャリティーえほんいち」などにも協力し、寄付を行いました。

■協賛

- 道新・UHB花火大会
- さっぽろ雪まつり
- YOSAKOIソーラン祭り
- カルチャーナイト
- 豊平区成人の日

- ミュンヘンクリスマス市 in SAPPORO
- 札幌交響楽団維持会員
- 北海道国際音楽交流協会賛助会員

■寄付活動

- チャリティーえほんいち 不要になった絵本を家庭から集め、「スポーツバイキング」開催時に安価で販売。
- 歳末たすけあい募金

地域に密着した活動に積極的に参加しています

地元町内会の一員として、地域の活動にも積極的に参加し、支援を行っています。また、近隣の約13,000世帯を対象に、札幌ドームのイベント情報などを掲載した広報誌「ドームニュース」を配布しています。



みらいを担う子どもたちのために

札幌ドームの試合観戦に招待する事業や教育、スポーツに関連する支援活動などを通して、みらいを担う子どもたちの健やかな成長を応援しています。

観戦招待事業「札幌ドームみらいシート」

「札幌ドームみらいシート」は、「初めての札幌ドーム」をコンセプトに、札幌ドームで開催される北海道コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に札幌市内の小学校3年生とその保護者さまをご招待するプロジェクト。子どもたちがスポーツへの関心を高め、学校単位での保護者さまとの観戦を通して、地域・学校・家族の絆が深まることを期待しております。2015年度は102校2,346名にご観戦いただきました。



■子どもたちからのメッセージ



特別な席にすわって...というのがとても感動した。ドームの中も広く楽しかった。

クラスの友だちと見れて楽しかった。野球がすきになった。



たくさんの友だちとあうんできたのが楽しかった。

学校の友達と、いしょに行けたし、試合も勝たかるとして楽しかったです。

みらいシートは楽しかったです。みる戸もよかったです!!

■札幌ドームみらいシート
ご招待実績(2008年～2015年)

・コンサドーレ戦	67試合
・ファイターズ戦	385試合
	計18,954名

【特別ご招待】

・コンサドーレ戦	7試合
・ファイターズ戦	18試合
児童養護施設および母子生活支援施設	600名
市内公募	550名
	計20,104名

■保護者さまからのメッセージ

みらいシートで観戦後、子供達が野球が大好きになり、何度も後に行くようになりました。みらいシートのようなドームへ足をほこるキッカケはとても良いと思います。

今度野球観戦に行ったら、子どもがなれたのでみらいシートで当選し、子どもと行ったら、子どもがとても喜んでくれました。また観戦に行こうと思うきっかけにもなりました。ありがとうございました。

みらいシートでご観戦された皆さまには、毎年アンケートにご協力いただいております。お寄せいただいたご意見は社内で共有し、施設の管理運営に生かしております。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

児童養護施設・母子生活支援施設などの皆さまに観戦チケットを贈呈しました

「札幌ドームみらいシート」事業の一環として、札幌市内の児童養護施設や母子生活支援施設などの皆さまにみらいシートチケット80名分を贈呈。これにより、札幌市から感謝状を授与されました。

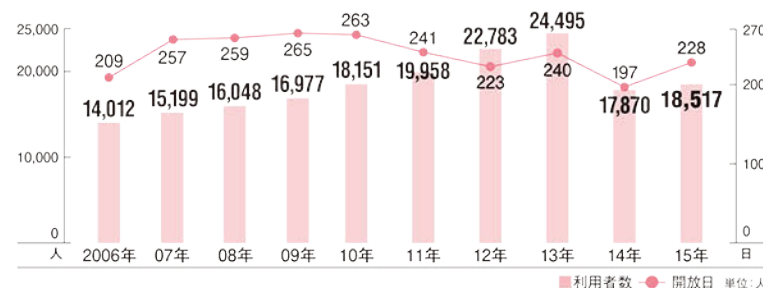


大型複合遊具「キッズパーク」は地域の子どもたちに親しまれています

札幌ドーム3階にある「キッズパーク」は、子どもたちが元気に遊べる大型複合遊具。イベントが開催されない日には無料でご利用いただくことができ、地域の子どもたちに親しまれています。



■キッズパーク来場者数の推移(イベント開催時除く)
※2014年度は大型ビジョン更新工事のため、11月から2月までの計74日間を休業いたしました。



「第5回 札幌ドームこども絵画展2015」

小学生を対象に札幌ドームをテーマにした絵画作品を募集し、「第5回 札幌ドームこども絵画展2015」を開催。寄せられた166点の作品を審査し、札幌ドーム大賞をはじめとする37点の入賞作品を決定しました。入賞作品はウェブサイトで紹介したほか、全応募作品を館内に展示し、ご来場されたお客さまに楽しんでいただきました。



表彰式には「コンサドーレ特別賞」と「ファイターズ特別賞」審査員であるドーレくんとB・B、ポリーボリスも参加。応募作品は事前に社員投票を行い、入賞決定の参考にしました。

■札幌ドーム大賞 「オレたちはJ1に行く!!」辻 拓実さん (小学2年生)

【作品に対するコメント】

自分がコンサドーレの選手としてJ1昇格のかかった試合に出場しているところを想像して描きました。



■金賞 小学1・2年生部門 「札幌ドームの花火きれいだな」 羽川 歩さん(小学1年生)



■金賞 小学3・4年生部門 「決めるぜ!!送りバントだ!!」 高塚 獅月さん(小学4年生)



■金賞 小学5・6年生部門 「札幌ドーム「金」一色」 森田 遥香さん(小学6年生)

アマチュアスポーツを支援しています

札幌市との協定に基づいてアマチュアスポーツ大会の開催を支援しているほか、当社独自の支援も実施。「2016「コンサドーレ・エスポラーダカップ」全道市町村サッカー・フットサルエンジョイ大会」「2015 FIGHTERSジュニア王座決定戦」などの運営にさまざまなサポートを行っています。



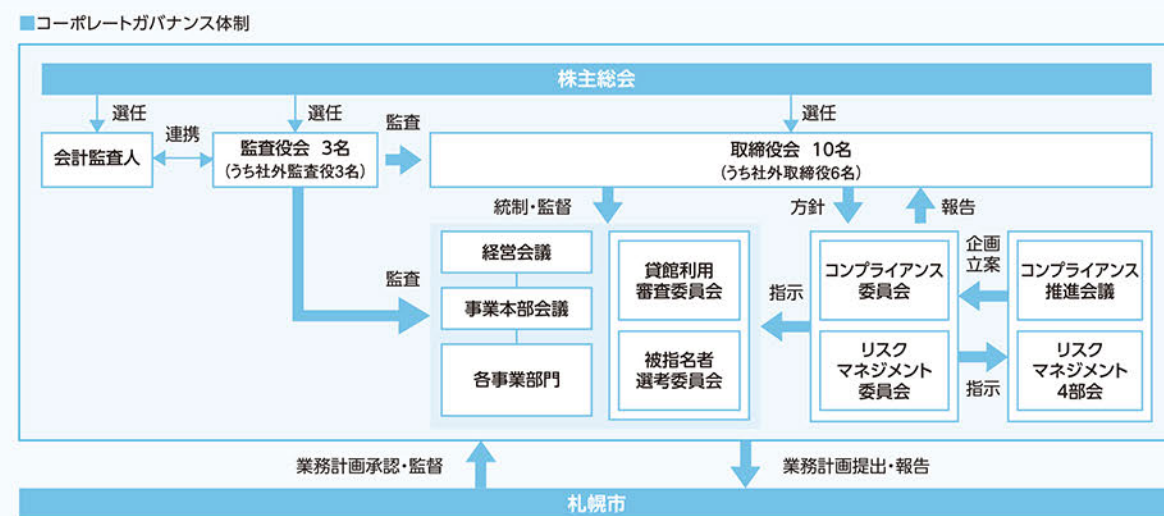
教育支援にも協力しています

小学校の総合学習などにも協力し、館内の清掃作業体験や札幌ドームの環境への取り組みについて説明しています。そのほか、2015年度は当社役員が札幌国際大学の講義に特別講師として招かれました。



信頼される企業であるために

私たち株式会社札幌ドームは、公正に事業を推進し、
信頼される企業となるよう、コンプライアンスを徹底するとともに、
さまざまなリスクに備えています。



P.32 コンプライアンスの徹底を図っています

P.32 さまざまなリスクに備えています



コンプライアンスの徹底を図っています

コンプライアンス委員会と、委員会のもとで具体策を企画立案する
コンプライアンス推進会議を設置しています。

コンプライアンス教育研修を実施

コンプライアンス意識向上のための各種教育研修を行っており、2015年度は全社員を対象とした集合研修として当社顧問弁護士の諏訪氏に「相続の諸問題について」、山本コンサルティングオフィス代表の山本氏に「労働時間管理のポイント」をテーマに講演していただきました。



新入社員を対象とした研修

コンプライアンスに関する基礎的な知識や倫理観を高めるため、新入社員研修の中で教育に取り組んでいるほか、e-ラーニングを活用した新入社員対象のコンプライアンス研修も継続的に実施しています。

相談窓口の設置

法令違反や不正行為などのコンプライアンス違反の未然防止、早期発見を目的に相談窓口を設置しています。複数の社内窓口と、当社顧問弁護士による社外窓口を置き、適切に対応できる体制を整備しています。

さまざまなリスクに備えています

リスクマネジメント委員会において「リスク対応方針」を定めるとともに、4つの部会を設置し、具体的なリスク対応策などを検討しています。

■4つの部会と主要テーマ

経営管理リスク部会	事業運営リスク部会	事業継続計画部会	危機管理部会
コンプライアンス、 業績および投資等に 関する事項	イベント・施設設備管理、 災害・パンデミックに 関する事項	BCPの策定・運用	危機管理マニュアルの 策定・運用

防災設備の社内講習を実施

大規模災害などに備え、全社員を対象に防災・防火に関する社内講習を実施。防煙垂壁や防火戸、防火シャッター等の防災・防火設備の設置場所や使用方法を確認し、防災意識を高めました。



安否確認システムの活用

大規模地震発生時に社員の安否確認を迅速・効率的に行うためのシステムを導入。社員が登録したアドレスにメールが配信され、安否状況を回答するシステムで、操作方法を体験するデモを定期的を実施しています。



暴力団等排除に向けた対策に取り組んでいます

暴力団等の排除に向けた取り組みを、プロ野球、Jリーグそれぞれで実施しています。
北海道警察・北海道暴力追放センターなどとも連携し、
お客さまに安心して観戦いただける環境を整備しています。

「プロ野球での取り組み」

北海道警察・北海道暴力追放センターにより、不当要求防止責任者専任事業者として認定。「北海道日本ハムファイターズ、札幌ドーム暴力団排除対策協議会」に加盟し、シーズン開幕前に実務者連絡会を開催して活動計画を議論しています。また、営業担当社員が暴力団排除対策協議会講習に参加するなど、お客さまが安心してご観戦していただける環境づくりを進めています。

「リーグでの取り組み」

Jリーグによる「暴力団等排除宣言」(2012年2月)を試合時に掲出。宣言に基づき、安全なスタジアムでスポーツをご観戦していただくための環境整備などに取り組んでいます。

誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、社員一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。



P.34 社員全員が誇りに思える職場を目指しています



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。

階層別の社内研修などを実施

2015年度は、役職や勤続年数などによる3つの階層ごとに、テーマを変えて階層別研修を実施。そのほか、新入社員研修、中堅社員研修、管理職研修、希望者が受講できる選択研修も行っています。

海外視察研修制度を設けています

諸外国の優れたスポーツ施設やイベント施設などを視察し、運営方法やノウハウなどを学ぶ海外視察研修制度を設けています。現地担当者から直接ヒアリングなどをし、社員の国際的な視野を広めています。

VOICE

海外視察の経験をもとに札幌ドームが目指すべき姿の議論を

より魅力ある施設づくりのため、最新の音響設備や人工芝の導入事例を視察

今回の海外視察研修は、各国の多目的スタジアムがどのように発展しているかを見て、今後、札幌ドームがどうあるべきか学ぶことを目的としました。その一環として、フランスにある世界的に有名なメーカーの工場と、そのメーカーの最新スピーカーを採用しているスタジアムを視察してきました。現地で最新スピーカーの音を体感し、今の札幌ドームにあるタイプとの明瞭度の違いを実感しました。札幌ドームは2015年に大型ビジョンを更新し、日本で一番良い画質を楽しめるので、音響設備を最新スピーカーに更新することによって音と映像の演出を魅力として打ち出していきたいと思っています。また、札幌ドームの人工芝とは違う種類の人工芝を採用して巻き取り作業をしているカナダのロジャーズ・センターを視察。巻き取りは不可能と考えていた種類の人工芝を工夫を凝らして巻き



取りして巻き取り作業をしているカナダのロジャーズ・センターを視察。巻き取りは不可能と考えていた種類の人工芝を工夫を凝らして巻き

取りしており、札幌ドームにも導入できる可能性があると感じました。場面転換費用の削減などにもつながるため、検討していきたいと思っています。

さまざまな部署の視点を生かして課題や理想像を話し合っていきます

ほかにも、実際に現地で話を聞くことで分かったことがたくさんあり、世界のスタジアムの主流や動向を知ることでもできました。また、多国語での対応やWi-Fi環境の整備は、札幌ドームにすぐにも必要なことだと改めて感じました。他部署の社員と一緒に視察したことで、これまで所属する課の中だけで話し合っていた札幌ドームの今後について、新しい視点で議論できたことも貴重な経験となりました。そのため、視察後の社内報告会では、札幌ドームの理想像を全社的に語り合う場があってもいいのではないかと提言しました。

施設部 設備課 課長代理 村上 拓也



ITを活用し業務を効率化

業務の効率化やコスト削減、セキュリティ強化などを目的に、ITの活用を積極的に進めています。2015年度は、社員の業務用パソコン更新のほか、Wi-Fi環境の整備によって業務の効率化や端末を使用した打ち合わせなどが可能になり、ペーパーレス化も推進しました。



ワークライフバランスの推進

当社は、「札幌市ワーク・ライフ・バランス認証企業(ステップ2)」としてさまざまな取り組みを推進し、柔軟で効率的な勤務体制をとることで仕事と生活の調和を図る環境づくりなどを行っています。幅広い福利厚生メニューを提供し、社員が家族とフランチイズチームの試合を観戦する機会なども設けています。



環境にやさしい施設であるために

札幌ドームは「環境方針」に基づき、
お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子どもたちのために
「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。



札幌ドーム 環境コンセプト
札幌ドーム ECO MOTION
～ひとりひとりがエコプレイヤー～
ひとりひとりがエコプレイヤー
SAPPORO DOME
札幌ドーム 環境シンボルマーク
札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、
地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

- P.36 環境方針・ECO MOTION 2021
- P.37 法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます
- P.38 省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします
- P.39 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します
- P.41 緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

[環境方針]

私たちは、みらいの子どもたちに美しい地球を残し、
札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、
訪れるすべてのお客さまとともに、
よりよい環境づくりに向けて取り組みます (2008年3月策定)

環境方針を実現するため、開業20周年を迎える2021年に向けて重点的に取り組む指針と、
2011年を基準年とした数値目標を2013年3月に策定しました。

ECO MOTION 2021 ～2021年に向けた環境目標

- ① マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底
法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます
環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
CSRレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します
- ② 低炭素社会に向けた取り組み
省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします
お客さまの安全や快適さを保ちつつ、エネルギー消費抑制に努めます
調査研究を進め、効果的な環境設備投資を行います
施設の特性を最大限に活かし、積極的な運用改善を行います
■2021年に向けた数値目標 エネルギー使用量を2011年度より10%削減します
- ③ 循環型社会に向けた取り組み
廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します
お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
グリーン購入を積極的に進めます
■2021年に向けた数値目標 廃棄ごみを2011年度より30%削減します
リサイクル率を60%以上にします
- ④ 生物多様性の保全と環境啓発活動の推進
緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます
生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます
■2021年に向けた数値目標 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します
環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

さっぽろエコメンバー



北海道グリーン・ビズ認定



2009年度「創意あふれる取組」部門
(もったいない心分野)に認定されました

グリーン購入ネットワーク



グリーン購入に取り組んでいます

国連生物多様性の
10年日本委員会認定



生物多様性
さっぽろ応援宣言企業

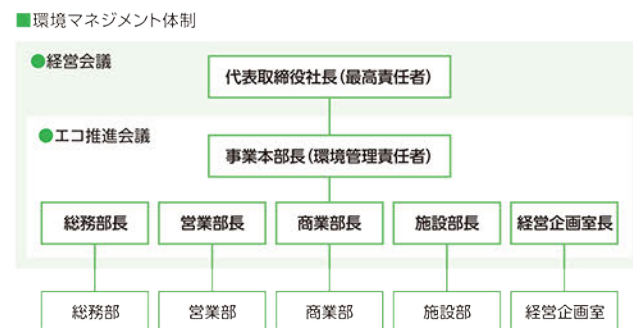


法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます

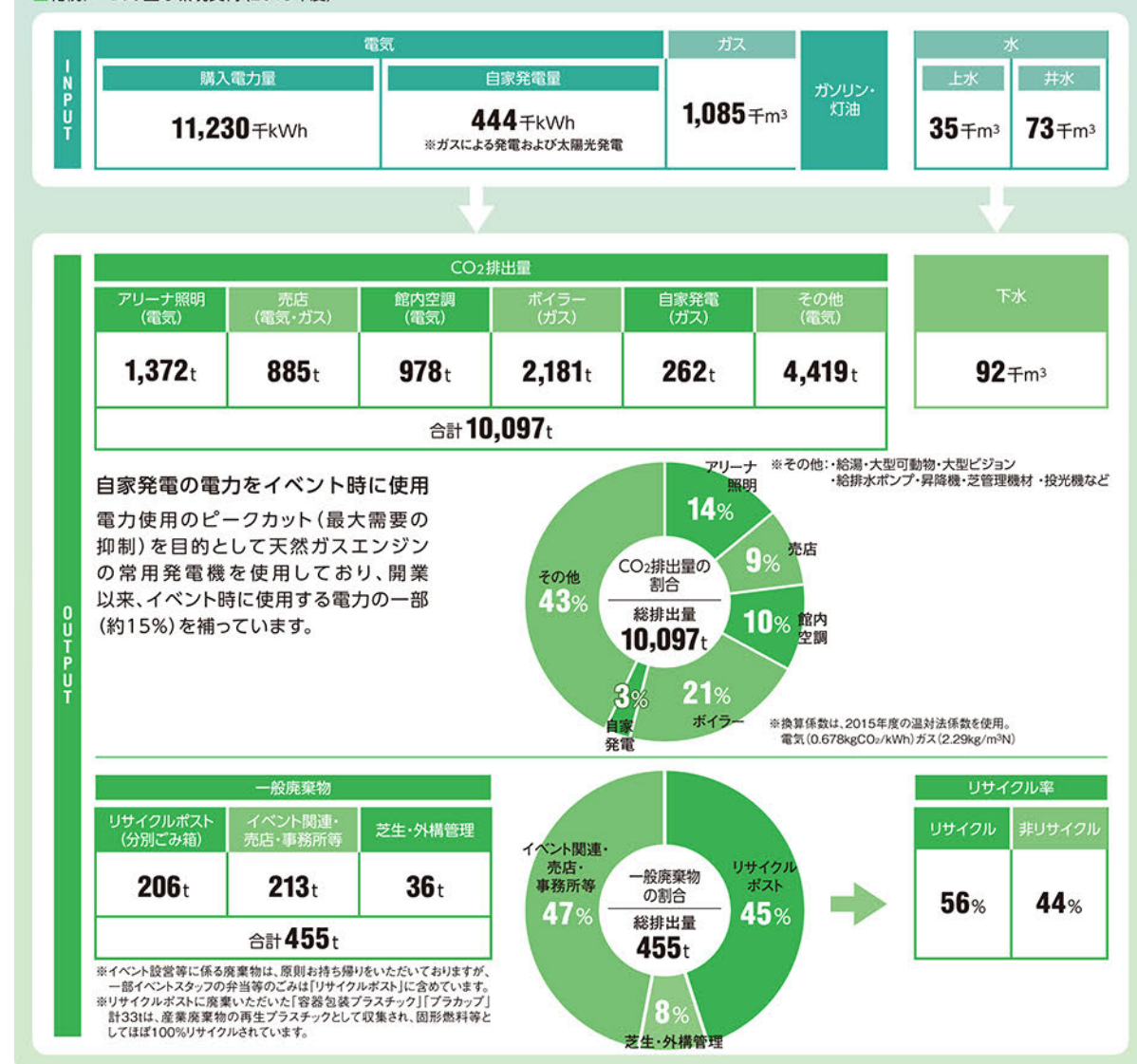
札幌ドームは、「環境方針」の実現に向けて、関連法令の遵守を徹底し、環境に対する負荷を正確に把握したうえで、環境経営の推進に取り組んでいます。

環境マネジメント体制の推進

環境への取り組みを推進していくために、「エコ推進会議」を設置し、環境経営の実現を進めていく体制を整備しています。各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を協議し、さらなる省エネルギーや廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上などに向けて検討を進めています。



札幌ドームの主な環境負荷(2015年度)



省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします

お客さまの安全性や快適性を保ちながら省エネルギーを推進し、CO₂排出量削減を図るため、環境にやさしい設備の活用や運用方法の改善などに積極的に取り組んでいます。

【数値目標】 ■エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

省エネ型の設備を積極的に活用しています

CO₂排出量を削減するために、2007年より省エネルギー型の空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」などを導入。省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進めることで、省エネルギーを推進しています。2015年度も引き続きロードヒーティングの温水設定温度を5℃下げ、CO₂排出量の削減を図りました。



省エネを考えて照明モードを緻密に制御

イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用形態に応じた27種類の照明モードを緻密に制御し、省エネを推進。プロ野球終了後のグラウンド整備時の照明モードを2009年より見直し、プロ野球開催時の電力消費量を5%削減しています。



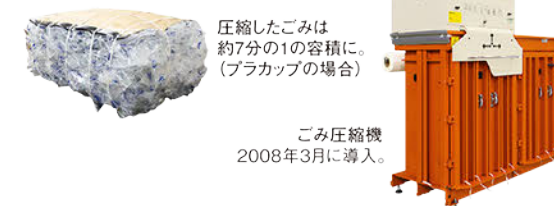
照明のLED化を進めています

省エネルギー対策の一環として、照明のLED化を進めています。2015年度は、当社事務所内の照明を一部LED化しました。



ごみを圧縮して減容化

回収したカップ、紙トレイ・弁当外箱、ペットボトルなどを圧縮して減容化することで、ごみの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減しています。



環境に配慮した設計を活用した運営を心がけています

スタンド席の局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要になるため、スタンド席の足元から冷・温風が吹き出す座席周辺に的を絞った局所空調を実施。さらに、スタンド全体の空調ゾーニングによる観客数に応じた冷暖房で、省エネルギーを図っています。

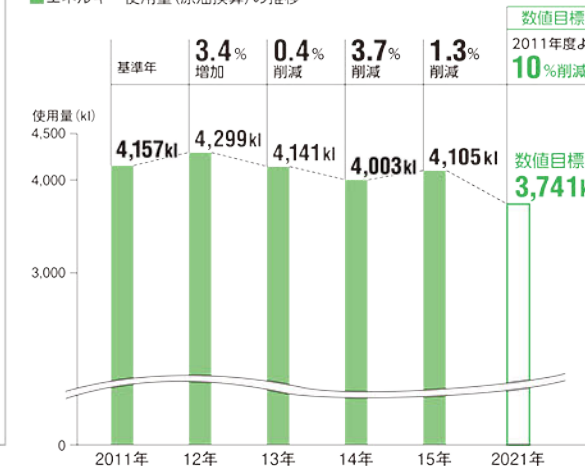


自然換気・自然採光を利用

天井の開閉式パネルとオープンアリーナ・屋内アリーナの開閉式扉開口部の操作で自然換気。壁のガラス面や天窓の自然採光も活用し、エネルギー消費を抑えています。



■エネルギー使用量(原油換算)の推移



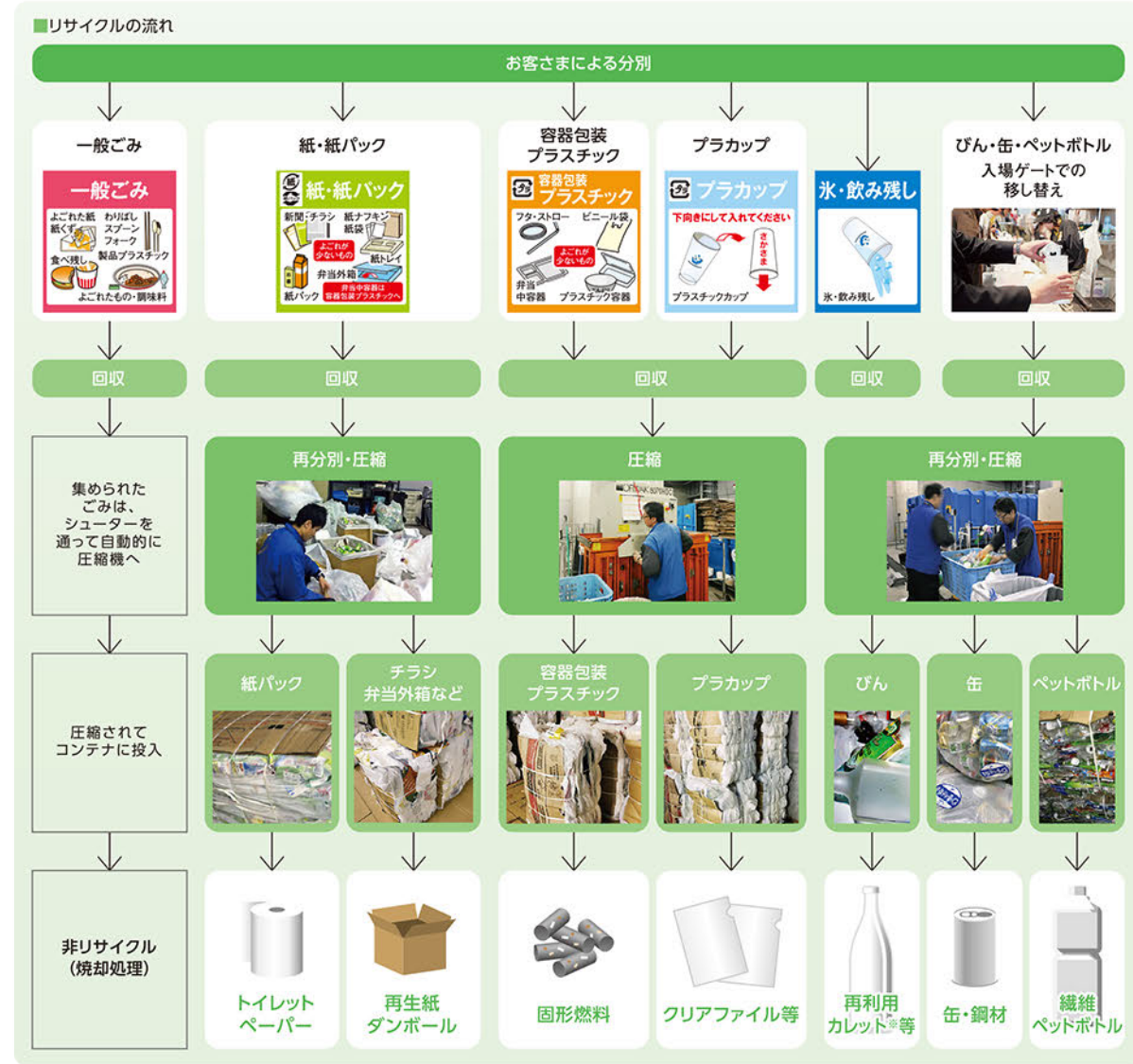
廃棄物を削減するとともに、 資源循環を促進します

お客さまにもご理解とご協力をいただきながら、
主催者さま、委託事業者さまとともに廃棄物の削減やごみ分別などに取り組み、
リサイクルの推進を図っています。

【数値目標】 ■廃棄ごみを2011年度より30%削減します ■リサイクル率を60%以上にします

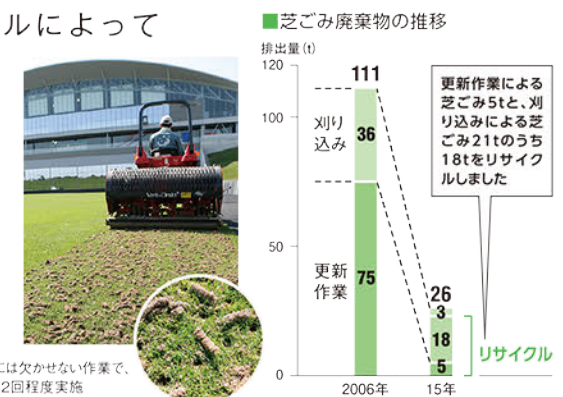
お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに
資源循環に取り組んでいます

札幌ドームは、お客さま、主催者さま、委託事業者
さまとともに資源循環に取り組み、ごみの分別回収
を行ってリサイクルを推進しています。2016年3月
からは、分別回収したプラスチックカップの処理方法
を変更し、工場で再生プラスチックの原料（ペレット）
にした後、プラスチック製品へと加工して国内で
再利用されるようになりました。



芝生の更新作業で発生する芝ごみのリサイクルによって
廃棄ごみを大幅に削減

地面が固くなると空気の通り道がなくなって根が呼吸しづらくなるため、天然芝サッカーグラウンド（2面）の芝の更新作業として、芝生に穴を空けるコアリングを行います。この作業で大量に発生する芝・根と砂が混じった芝ごみは、2007年度から分別を開始し、砂をサッカーグラウンドのメンテナンスに再利用。また、2014年度からは芝・根の一部を堆肥に、さらに2015年度からはコアリングしたものを緑化資材として緑地に敷きつめて再利用する取り組みも始め、廃棄ごみ削減に努めています。



VOICE

プラスチックカップの原料化リサイクルが可能になりました

お客さまに分別回収へのご協力を
いただくことで、「ごみ」を有価物に

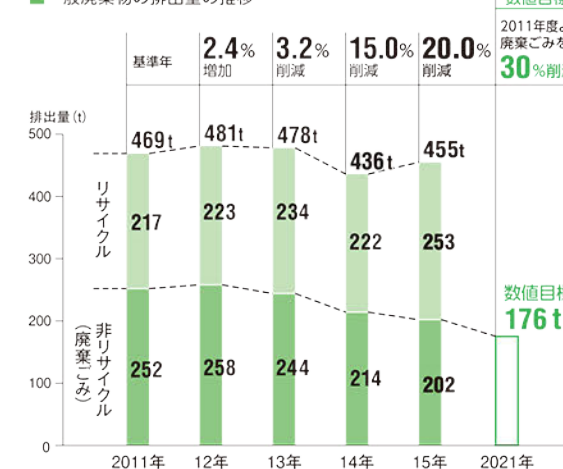
2016年3月から、分別回収したプラスチックカップの
処理方法を変更し、再資源化を図ることになりました。
これまでプラカップは、容器包装プラスチックとともに
固形燃料にリサイクルしていましたが、プラカップはポリ
プロピレンという素材なので、これをまたプラスチック
原料として再利用できないかと2014年9月頃に再生
工場にサンプルを渡して具体的な検討を始めました。
当初はわりばしや食べ物、紙などの異物が多数混じって
おり、このままでは対応できないとの評価でした。そこで、
当社側ではごみ回収時の分別精度を上げる努力、工場

側では、プラカップを粉砕加工後、水の中で比重分離
させてポリプロピレンだけを取り出す実験を繰り返し、
加工されたポリプロピレンの成分についての品質検査
なども経て約1年後に原料化にこぎつきました。この
プラスチック原料は販売され、自動車部品の一部などに
使われる予定で、「ごみ」を有価物に変えることができま
した。ごみ削減のためとはいえ、お客
さまにはご面倒をおかけしますので、
ご協力いただきやすい方法につい
てもさらに考えてまいります。

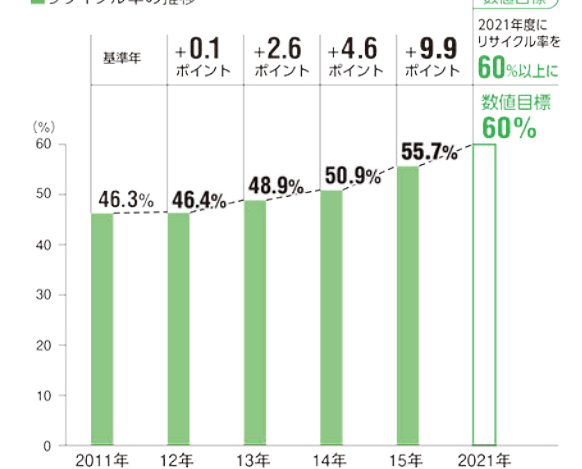
施設部 施設管理課 課長代理
遊佐 美穂



■一般廃棄物の排出量の推移



■リサイクル率の推移



緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

周囲の環境や生態系に配慮しながら敷地の維持管理を行うとともに、札幌ドームの環境への取り組みについて子どもたちをはじめ多くの方々に知っていただく活動を幅広く展開しています。

【数値目標】 ■30種以上の鳥が訪れる環境を維持します ■環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

エコロジカルプランニングに基づいた緑豊かな「スポーツの庭」を実現

農耕地と都市を緩やかにつなぐ「スポーツの庭」として誕生した札幌ドーム。地域に適した豊かな環境づくりを目指す「エコロジカルプランニング」に基づき、生態系に配慮した敷地の維持管理を行っています。



■建設前



■2010年

さまざまな環境啓発企画を実施

「環境にやさしい施設」を目指す札幌ドームの取り組みを知ってもらうため、さまざまな企画を実施しています。子どもたちに分かりやすく、興味を持ってもらえるよう、環境啓発活動を継続的にを行っています。



■環境科学展に出展

札幌市青少年科学館で開催された「第9回環境科学展」で生き物を調べる企画等を実施。



■環境啓発ブースに出展

自主イベント開催時に、環境啓発のためのブースを出展。



■近隣の小学生を展望台に招待し、環境啓発企画を実施

近隣小学校の子どもたちを招待し、展望台の見学や札幌ドームの環境への取り組みについての説明を通して環境や地域について考える機会を提供しています。

敷地内に暮らす鳥や昆虫を観察

「札幌ドーム 生き物探検隊！」を初開催

札幌ドーム敷地内で専門家のガイドのもと、鳥と昆虫の観察を行う企画「生き物探検隊！」を実施しました。当日は小学生と保護者さま合わせて22名の方に参加いただき、散策路やピオトープ付近を巡りながら、鳥や昆虫を探しました。「札幌ドームにたくさん生き物がいることに驚いた」などの感想をいただき、札幌ドームの豊かな自然環境を知っていただく機会となりました。



【講師】

■NPO法人生態教育センター 主任指導員/中村 忠昌 氏
■中央大学 理工学部 保全生態学研究室 専任研究員/須田 真一 氏
■大成建設株式会社 環境本部さま

「社員エコ行動」を推進しています

節電やごみ分別の徹底など、社員一人ひとりが意識を高めるためにエコ行動を列記したチェックシートで達成度を確認することで「社員エコ行動」を推進。社員による敷地内外のごみ拾い「札幌ドームクリーン・アップ作戦」も毎年実施しています。



環境への取り組みを広く発信しています

札幌ドームの環境への取り組みは、ウェブサイトやCSRレポートでの公開のほか、札幌市開催の「環境報告書展」出展、「国連生物多様性の10年日本委員会の連携事業」認定を受けてのシンポジウム参加など、さまざまなかたちで発信しています。



■環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業
(半地下構造、自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 通年営業店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力を採用(以降、2009年度まで実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事(「エコキュート」導入)
- 3 リサイクルポストをリニューアルし、紙トレイ・弁当外箱も含め、より分別しやすいデザインに変更
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 ドームツアー・展望台スタッフユニフォームを「マテリアルリサイクルマーク」認定素材に切り替え
- 9 第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社員エコ行動」の推進開始
- 8 酒類ビンの分別回収を開始
- 11 剪定枝の分別回収を開始
- 11 北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
- 2010. 3 コンコースおよび南北連絡通路の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑がみ分別の開始
- 4 Kids' ISO 14000プログラムに協賛(以降、毎年継続)
- 8 エコポイントを活用し、環境寄付を実施
- 11 ヘリメーターヒーターインバーター化工事
- 12 環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいにしよう」開催
- 2011. 3 札幌ドーム太陽光発電設備設置
- 3 屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
- 3 「エコ弁当」を企画
- 3 2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
- 10 第6回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース初出展
- 2012. 2 トイレ照明人感センサー化工事
- 3 トイレ手洗い・トレーニングルームシャワーに節水金物を設置
- 7 第4回さっぽろ環境賞(循環型社会形成部門)において「優秀賞」を受賞
- 9 環境啓発企画「札幌ドーム巣箱づくり体験教室」を開催
- 11 札幌ドーム西棟ガラス面にバードセーバーを設置
- 11 札幌ドーム展望台ガラスの遮熱コーティング工事
- 12 平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞において「大賞」を受賞
- 2013. 3 新環境目標「ECO MOTION 2021」を策定
- 6 「札幌ドーム展望台見学および環境啓発事業」を開始
- 10 「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」を受賞
- 2014. 3 飲料用カップにプラスチック製品を導入し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
- 3 貫流ボイラーを省エネタイプに更新
- 3 電気自動車を導入
- 5 芝ごみの堆肥化リサイクルを開始
- 7 自主イベント時の環境啓発ブースの出展を開始
- 12 容器包装プラスチックごみの分別・再資源化を開始し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
- 2015. 3 「札幌ドーム ECO MOTIONと大成建設エコロジカルプランニング」が「国連生物多様性の10年日本委員会の連携事業」に認定
- 8 環境啓発企画「札幌ドーム 生き物探検隊！」を初開催
- 11 「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」に登録
- 2016. 3 プラスチックカップの原料化リサイクルを開始

札幌ドームは生物多様性の保全に取り組み、豊かな環境づくりを進めています

札幌ドームは生物多様性の保全に取り組み、生態系に配慮した敷地の維持管理を続けています。緑に包まれ、さまざまな種類の鳥や昆虫たちが暮らす豊かな環境づくりをこれからも進めていきます。

エコロジカルプランニング

札幌ドーム建設に先立ち、食物連鎖の上位に位置する「鳥」の視点から、建設予定地を含む周辺地域の生態系を分析。鳥が暮らしやすい環境づくりを基調として、森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入しました。建設前より豊かな生態系を築くことを目指したこの「エコロジカルプランニング」に基づき、敷地の維持管理に取り組んでいます。

人の安全と生き物を守る取り組み

緑や生き物たちを守るとともに、景観の美しさとお客さまの安全性を確保するため、散策路などの草地の刈り込み、植栽の剪定や冬囲いなどを適切な時期に実施しています。大雨による河川の増水を一時的に受け止める調整池では、泥を取り除く際にトンボが生息するヨシやガマを残すようにするなど、生態系に配慮しながら作業を行っています。

鳥が暮らす環境を守るため巣箱やバードセーバーを設置

札幌ドーム敷地内には多くの鳥たちが暮らしており、その環境を守っていくために地域の子どもたちが作製した巣箱を各所に設置。また、鳥が衝突するバードストライクを防ぐため、西棟ガラス面にバードセーバー(105m)を設置しています。



協力:大成建設株式会社

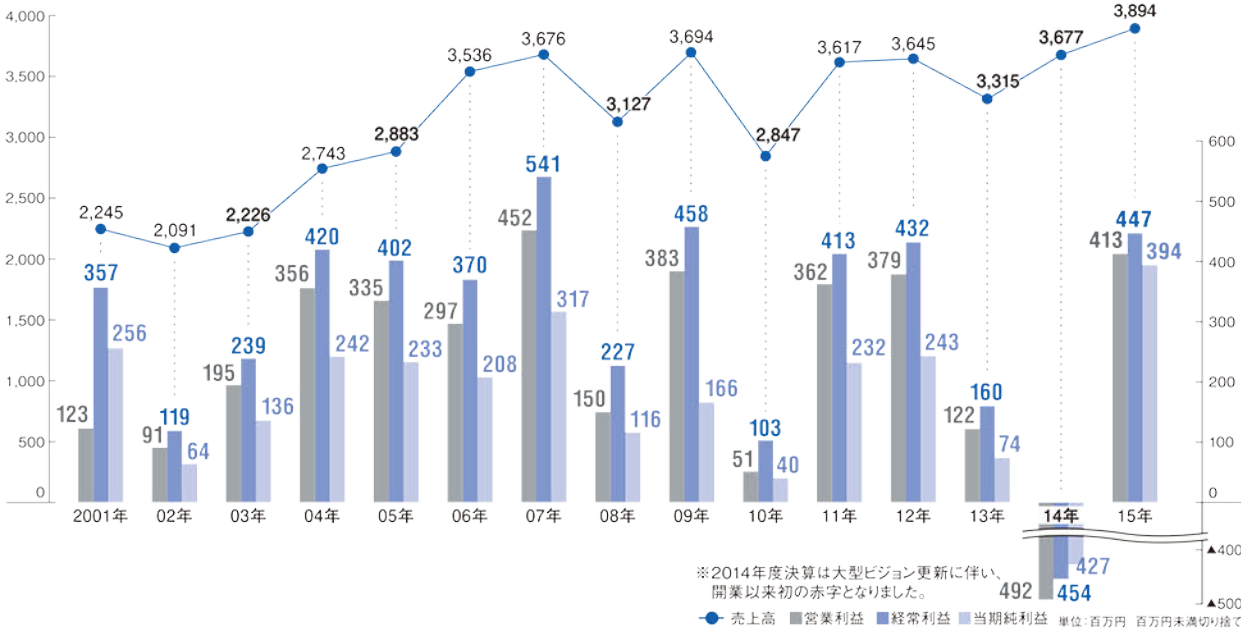
■会社概要

商 号 株式会社札幌ドーム
所 在 地 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
代 表 者 代表取締役社長 長沼 修
設 立 1998年10月1日
資 本 金 10億円
売 上 高 38億9,435万円(2016年3月期)
社 員 数 72名(2016年6月現在)
事業内容 札幌ドームの管理運営業務全般
〔 地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく
札幌ドーム指定管理者
1.貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出
およびイベント運営サポート)
2.商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営)
3.観光事業(ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営)
4.市民利用事業(草野球、サッカー練習場および
トレーニング室の一般市民利用管理)
5.広告事業(ドーム内広告看板の販売管理)
6.駐車場事業(ドーム駐車場の管理運営)
7.チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)
株 主 札幌市(55%)、札幌商工会議所、
北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、
(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、
(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、
(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、
大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、
(株)電通、(株)電通北海道、
(株)大広、東日本電信電話(株)、
(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本ー北海道、
エヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)、
北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、
(株)JTB北海道、(株)JTB商事、
北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、
北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

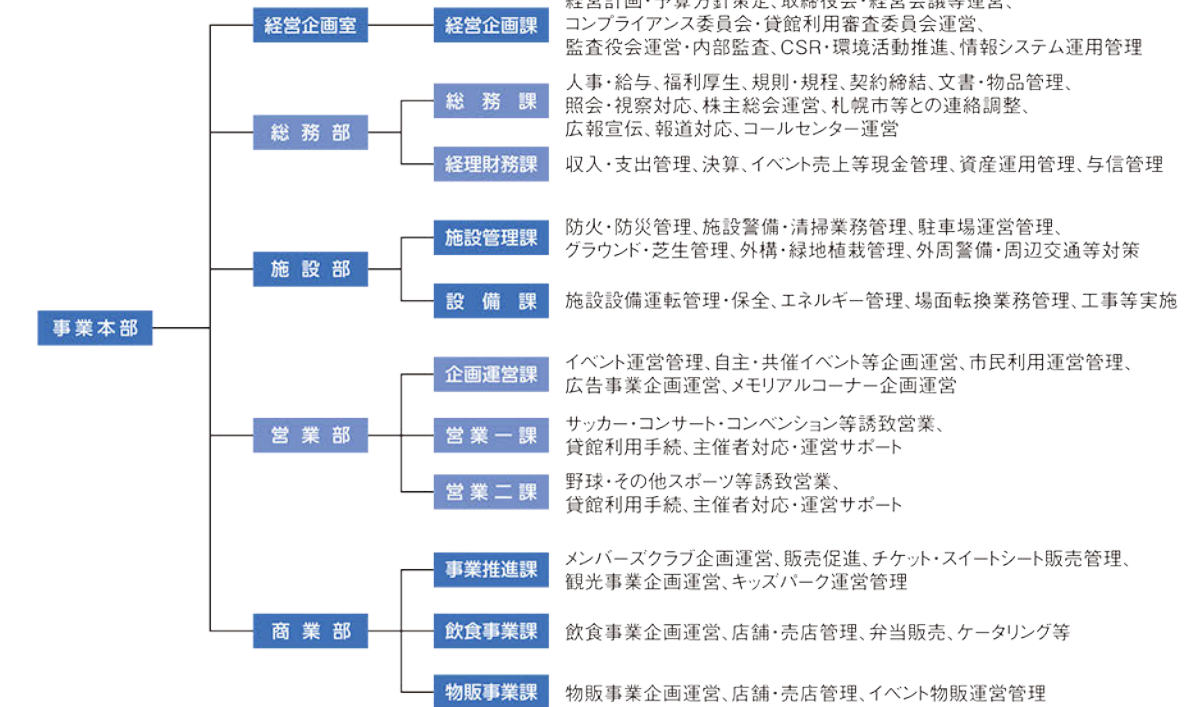
■札幌ドームの歩み

1993. 1 2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
1996. 1 札幌市、ドーム化を決定
5 2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
1998. 6 着工
10 株式会社札幌ドーム設立
1999.10 札幌ドーム条例制定
2001. 5 竣工
6 開業(6/2)
9 来場者100万人突破
2002. 3 日本ハムファイターズ フランチャイズ移転計画
「北海道新聞」紙面で公に
6 2002FIFAワールドカップ™大会開催
7 日本ハムファイターズ、フランチャイズ移転正式決定
10 トレーニングルーム オープン
12 「J1ベストピッチ賞」受賞
2003.10 札幌ドーム敷地内に、フランチャイズ事務所棟完成
2004. 3 北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
11 「札幌ドームMVP賞」創設
2005. 3 人工芝更新
2006. 3 来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
4 指定管理者制度導入
5 こどものひろば“キッズパーク”オープン
6 開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
10 北海道日本ハムファイターズ 日本シリーズ優勝
2007. 2 FIS ノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
10 来場者1,500万人突破
2008.10 2008FIA世界ラリー選手権 第14戦
バイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
2009. 3 プレイヤーズビューシート設置
8 来場者2,000万人突破
9 2010FIA世界ラリー選手権 第10戦 ラリージャパン開催
2010. 6 開業10周年、来場者2,500万人突破
7 北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム初開催
2012. 2 札幌モーターショー初開催
2013. 1 来場者3,000万人突破
2 人工芝更新(2回目)
6 来場者数3,000万人を記念し、「感謝の森」を造成
2014. 3 「グッズ☆ジャム」拡張リニューアルオープン
2015. 2 大型ビジョン更新
2016. 6 開業15周年

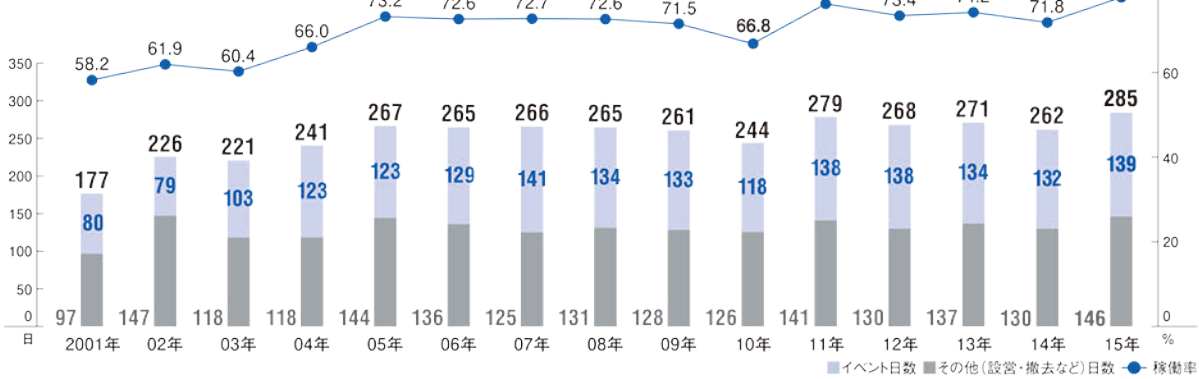
■業績の推移



■組織図および業務分掌



■利用日数および稼働率の推移



■来場者数の推移

